F-01D

ARROWS Tab LTE

取扱説明書　'11.9

はじめに

「F-01D」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

本端末のご使用にあたって

- F-01Dは、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れることがありますので、ご了承ください。
- 本端末は、無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の送信内容と異なって受信される場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容（連絡先、スケジュール、メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本端末は、Xiエリア、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式では、ご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

F-01Dの操作説明

「クイックスタートガイド」（冊子）

画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明

「取扱説明書」（本端末に搭載）

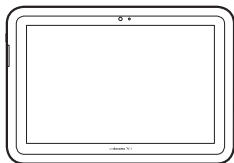
すべての機能の案内や操作について説明
アプリケーションメニューで［取扱説明書］→検索方法を選択

「取扱説明書」（PDFファイル）

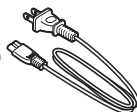
すべての機能の案内や操作について説明
〈パソコンから〉http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※最新情報がダウンロードできます。

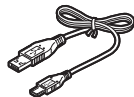
本体付属品および主なオプション品

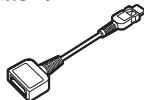
〈本体付属品〉

F-01D（保証書含む）

クイックスタートガイド

電子辞書データ DVD（試供品）

AC アダプタ F05（保証書付き）

卓上ホルダ F35

PC 接続用 USB ケーブル T01

〈主なオプション品〉

FOMA 充電 microUSB 変換アダプタ T01（取扱説明書付き）

FOMA AC アダプタ 01 ／ 02（保証書、取扱説明書付き）

その他のオプション品→P101

- 本書においては、「F-01D」を「本端末」と表記しています。
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書内の「認証操作」という表記は、4～8桁の端末暗証番号を入力する操作（→P42）を表しています。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。

目　次

F-01Dのご利用にあたっての注意事項

- 本端末はｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなどには対応しておりません。
- Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 本端末は、データの同期や最新ソフトウェアバージョンをチェックするための通信やサーバーとの接続を維持するための通信などを一部自動的に行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 本端末では、マナーモード中でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、アラームなど）は消音されません。
- お客様の電話番号（自局番号）は以下の手順で確認できます。
  アプリケーションメニューで［設定］→［端末情報］→［プロフィール情報］
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P105
- 本端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後に、古いバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- microSDカードや本端末の容量がいっぱいに近い状態のときに、起動中のアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。そのときは保存しているデータを削除してください。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。→P44
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカードやFOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Androidマーケットなどの Googleサービスや、Twitter、Facebookなどのサービスを他人に利用されないように、パソコンから各種アカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットNet（VPN設定はPPTPのみに限定）以外のプロバイダはサポートしておりません。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。
- 本端末は、音声通話およびデジタル通信（テレビ電話、64Kデータ通信）には対応しておりません。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要です。
- テザリング利用時は、通信料が高額になる場合がありますので、パケット定額サービスへのご加入を強くおすすめします。
- パケット定額サービスをご利用の場合、テザリングを有効にすると外部機器が未接続の状態でも、ブラウザやメールなどを含むすべてのパケット通信が「パソコンなどの外部機器を接続した通信」となります。利用後は必ずテザリングを無効にしてください。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

◆本端末、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードの取り扱い（共通）

⚠危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能についてはこちらをご参照ください。→P15

指示

本端末に使用するアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらアプリケーションやワンセグ視聴などを長時間行うと本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

◆本端末の取り扱い

■ 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表　示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムポリマー電池

⚠危険

禁止

火の中に投下しないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

禁止

本端末内のドコモminiUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で携帯電話が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部の表面にはABS樹脂、カメラのレンズの表面には高強度アクリル樹脂部品を使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠注意

禁止

端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。**→「材質一覧（P11）」**

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

◆アダプタ、卓上ホルダの取り扱い

⚠警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

電源プラグを抜く

火災、やけど、感電の原因となります。

◆ ドコモminiUIMカードの取り扱い

⚠注意

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

指示

けがの原因となります。

◆ 医用電気機器近くでの取り扱い

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

指示

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。

指示

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。

指示

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

指示

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

◆材質一覧

使用箇所		材　質	表面処理
外装ケース	フロントケース	ABS樹脂	UVハードコート
	リアケース	PC+ABS樹脂	UVハードコート
タッチパネル		強化ガラス	AFコート
カメラパネル		高強度アクリル樹脂	UVハードコート
電源キー		ABS樹脂	錫メッキ
音量ボタン		ABS樹脂	錫メッキ
ステレオイヤホン端子		PA樹脂	なし
端子キャップ／スロットキャップ	本体	PC樹脂	UVハードコート
	屈曲部	エラストマー樹脂（PE）	なし
	止水部	シリコーンゴム	なし
外部接続端子		ステンレス鋼	錫メッキ
充電端子	接点部	ステンレス鋼	金メッキ
	接点ホルダ部	LCP樹脂	なし

取り扱い上のご注意

◆共通のお願い

- **F-01Dは防水性能を有しておりますが、端末内部に浸水させたり、付属品、オプション品に水をかけたりしないでください。**
  - アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
    また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

- **本端末などに無理な力がかからないように使用してください。**
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子やステレオイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

◆本端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  - タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  - 温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。お風呂場でのご使用については、「F-01Dが有する防水性能でできること」をご覧ください。→P15
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **外部接続端子やステレオイヤホン端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常は端子キャップとスロットキャップを閉じた状態でご使用ください。**
  - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
  - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  - 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- **内蔵電池は消耗品です。**
  - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**
- **内蔵電池を保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

◆アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  - 故障の原因となります。

◆ドコモminiUIMカードについてのお願い

- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身でドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
  - 故障の原因となります。

◆Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末では、ヘッドセット、オーディオ、キーボード、データ転送、シリアルポート、画像転送、ヘルスデバイスを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります（対応しているBluetooth機器のみ）。
- 周波数帯について
  本端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。
  使用周波数帯域：2400MHz帯
  変調方式：FH-SS方式
  想定される与干渉距離：10m以下
  周波数変更の可否：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

Bluetooth機器使用上の注意事項
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆無線LAN（WLAN）についてのお願い

- **無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。**
- **無線LANについて**
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- **周波数帯について**
  WLAN搭載機器が使用する周波数帯は次のとおりです。
  使用周波数帯域：2400MHz帯
  変調方式：DS-SS方式、OFDM方式
  想定される与干渉距離：40m以下
  周波数変更の可否：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能
  利用可能なチャンネルは国により異なります。
  WLANを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
  航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

2.4GHz機器使用上の注意事項
WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆注意

- **改造された端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けております。
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **Bluetooth機能は日本国内で使用してください。**
本端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **通信中は、本端末を身体から15mm以上離してご使用ください。**

防水性能

F-01Dは、端子キャップとスロットキャップをしっかりと閉じた状態で、IPX5※1、IPX7※2の防水性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信端末としての機能を有することを意味します。

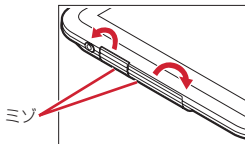
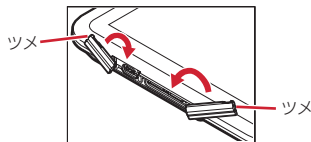
※2 F-01DにおけるIPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.0mの所にF-01Dを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信端末としての機能を有することを意味します。

❖F-01Dが有する防水性能でできること

- **1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通信ができます。**
  - 手が濡れているときや端末に水滴がついているときには、端子キャップやスロットキャップの開閉はしないでください。
- **水深1.0mのプールの中に沈めることができます。**
  - 水中で操作しないでください。
  - プールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
  - プールの水がかかったり、プールの水に浸けたりした場合は、後述の方法で洗い流し、所定の方法（→P17）で水抜きしてください。
- **お風呂場で使用できます。**
  - 湯船には浸けないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って所定の方法（→P17）で水抜きしてください。
  - 温泉や石鹸、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、直ちに後述の方法で洗い流し、所定の方法（→P17）で水抜きしてください。
  - お風呂場では、温度は5℃～45℃、湿度は45%～99%、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
  - 急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かいお風呂などに本端末を持ち込むときは、本端末が常温になるまで待ってください。
  - 蛇口やシャワーから水やお湯などをかけないでください。
- **洗面器などに張った静水につけて、ゆすりながら汚れを洗い流すことができます。**
  - 洗うときは、端子キャップとスロットキャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず洗ってください。

◆防水性能を維持するために

水の浸入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- ドコモminiUIMカードやmicroSDカードの取り付け／取り外し時や外部接続端子を使用するときには、次の図に示すミゾに指を掛けてキャップを開け、矢印のように回してください。

また、ドコモminiUIMカードやmicroSDカードの取り付け／取り外し後や外部接続端子使用後は、矢印のように回してキャップを閉じ、ツメを押し込んでキャップの浮きがないことを確認してください。

- 端子キャップとスロットキャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。
- マイク、スピーカーなどを綿棒や尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水性能の劣化を招くことがあります。
- 端子キャップ、スロットキャップのゴムパッキンは防水性能を維持する上で重要な役割を担っています。ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

防水性能を維持するため、異常の有無に関わらず必ず2年に1回、部品の交換が必要となります。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

◆ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉

石鹸／洗剤／入浴剤をつける

ブラシ／スポンジで洗う

洗濯機で洗う

強すぎる水流を当てる

海水につける

温泉で使う

砂／泥をつける

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

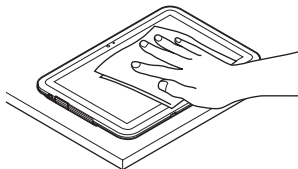
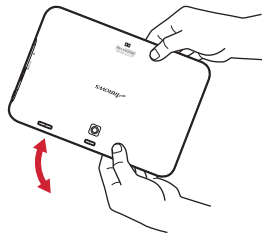
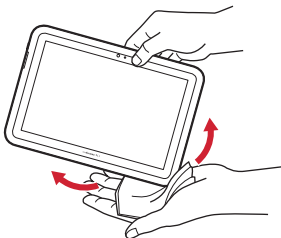
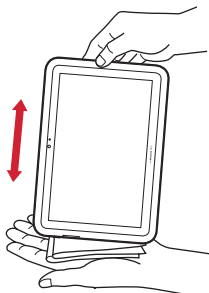
- 付属品、オプション品は防水性能を有していません。付属の卓上ホルダに端末を差し込んだ状態で動画再生などをする場合、ACアダプタを接続していない状態でも、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 規定（→P15）以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。F-01DはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 水道水やプールの水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。

- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。電源端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- マイク、スピーカーに水滴を残さないでください。動作不良となる恐れがあります。
- 端子キャップやスロットキャップが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 端子キャップやスロットキャップのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取替えください。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

◆水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、下記の手順で水抜きを行ってください。

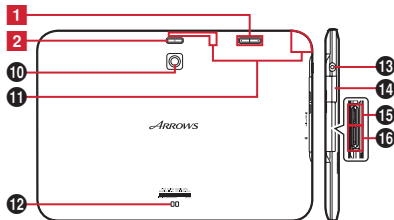
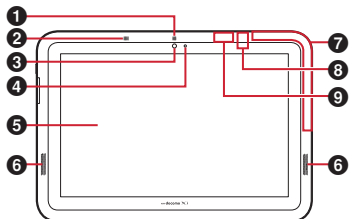
① 本端末を安定した台などに置き、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

② 本端末のディスプレイ面を下にして、長い辺を両手でしっかりと持ち、10回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。その後、180度持ち替えて同様に10回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。

③ **外周部の隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末の四隅を各10回程度振るように押し当てて拭き取ってください。**

④ **マイク、スピーカー、キー、充電端子などの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて拭き取ってください。**

⑤ **本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。**
- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

◆充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 充電時は、本端末が濡れていないか確認してください。本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 付属品、オプション品は防水性能を有していません。
- 本端末が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、付属の卓上ホルダに差し込んだり、端子キャップを開いたりしてください。
- 端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。なお、外部接続端子からの浸水を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

〈各部の機能〉

❶ **ランプ**
　赤色点灯：充電中
　※アプリケーションによって点灯色は異なります。

❷ **マイク**

❸ **インカメラ**

❹ **照度センサー**
　周囲の明るさを検知して、ディスプレイのバックライトの明るさを自動調節（ふさぐと正しく調整されない場合があります。）

❺ **ディスプレイ（タッチパネル）**

❻ **スピーカー**

❼ **ワンセグアンテナ部**
　※アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

❽ **Bluetooth／Wi-Fiアンテナ部**
　※アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

❾ **GPSアンテナ部**
　※アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

❿ **アウトカメラ**

⓫ **Xiアンテナ部**
　※アンテナは本体に内蔵されています。手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

⓬ **充電端子**

⓭ **ステレオイヤホン端子（防水）**

⓮ **外部接続端子**
　付属のPC接続用USBケーブル T01や別売りのFOMA 充電microUSB変換アダプタ T01などの接続
　※microUSBプラグは刻印のある面を上にして、外部接続端子に水平に差し込んでください。

⓯ **microSDカードスロット**→P21

⓰ **ドコモminiUIMカードスロット**→P20

〈キーの機能〉

キーを押して動作する機能は次のとおりです。

1 **音量ボタン** [◀][▶]
　押す：音量調節

2 **電源キー** [⏻]
　押す：スリープモードの設定／解除
　長く押す：電源を入れる／切る

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードとは、お客様の情報が記録されているICカードです。

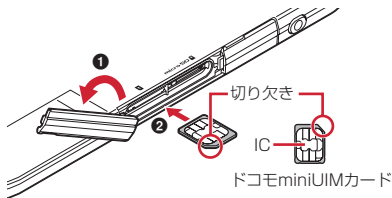
- ドコモminiUIMカードは、対応端末以外ではご利用いただけないほか、ドコモUIMカードからのご変更の場合は、ご利用のサイトやデータなどの一部がご利用いただけなくなる場合があります。
- 本端末ではドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードが本端末に取り付けられていないと、一部の機能を利用することができません。
- ドコモminiUIMカードについて詳しくは、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

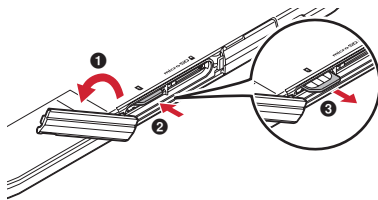
◆ ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し

- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。

■ 取り付けかた

本端末のスロットキャップを開け（❶）、本端末裏側のUIMカードマークの向きに合わせてドコモminiUIMカードのIC面を上に向けて、ドコモminiUIMカードを「カチッ」と音がするまで❷の方向に差し込む

- 切り欠きの方向にご注意ください。

■ 取り外しかた

本端末のスロットキャップを開け（❶）、ドコモminiUIMカードを❷の方向に軽く押し、飛び出したドコモminiUIMカードを❸の方向にまっすぐ引き出す

✔お知らせ

- ドコモminiUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモminiUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、ドコモminiUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- ドコモminiUIMカードを取り外すとき、ドコモminiUIMカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

◆ ドコモminiUIMカードの暗証番号

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P43

microSDカード

◆ microSDカードについて

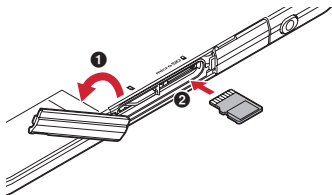
本端末にmicroSDカードまたはmicroSDHCカードを取り付けて利用します。

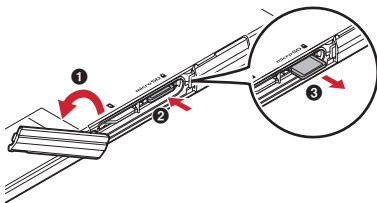
- 本端末は、2GBまでのmicroSDカードと32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2011年9月現在）。ただし、市販されているすべてのmicroSDカードおよびmicroSDHCカードの動作を保証するものではありません。
- microSDカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる恐れがあります。

◆ microSDカードの取り付け／取り外し

- microSDカードの取り外しは、マウントを解除するか電源を切ってから行ってください。

■ 取り付けかた

本端末のスロットキャップを開け（❶）、本端末裏側のmicroSDマークの向きに合わせてmicroSDカードの金属端子面を上に向けて、microSDカードを「カチッ」と音がするまで❷の方向に差し込む

■ 取り外しかた

本端末のスロットキャップを開け（❶）、microSDカードを❷の方向に軽く押し、飛び出したmicroSDカードを❸の方向にまっすぐ引き出す

✔お知らせ

- microSDカードを取り外すとき、microSDカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

充電

❖充電時のご注意

- 本端末を使用しながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、充電が完了しなかったりすることがあります。
- 充電中は本端末やACアダプタが温かくなることがありますが、故障ではありません。本端末が温かくなったとき、安全のため一時的に充電を停止することがあります。本端末が極端に熱くなる場合は、直ちに使用を中止してください。
- 次の場合、充電エラーになります。充電エラーになると、起動中の機能が終了して電源が切れ、ランプが消灯します。充電器を取り外してください。
  - 充電電圧が高くなった
  - 内蔵電池が過充電／過放電した
  - 10時間以上たっても充電が完了しなかった
  - 電池温度が保証動作温度外となった

❖充電時間（目安）

F-01Dの電源を切って、内蔵電池が空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

ACアダプタ	ACアダプタ F05：約400分 ACアダプタ 01／02：約950分
DCアダプタ	約860分

❖十分に充電したときの使用時間（目安）

充電のしかたや使用環境によって、使用時間は変動します。→P109

連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約1,600時間
	GSM	静止時（自動）：約1,200時間
	LTE	静止時（自動）：約900時間

❖内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、本書巻末の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

❖ご利用になれる充電用アダプタについて

詳しくは、ご利用になるACアダプタまたはDCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

ACアダプタ F05（付属品）※1：AC100Vから240Vまで対応しています。

FOMA ACアダプタ01（別売）※2：AC100Vのみに対応しています。

FOMA ACアダプタ02／FOMA 海外兼用ACアダプタ01（別売）※1、2：AC100Vから240Vまで対応しています。

FOMA DCアダプタ01／02（別売）※2：自動車の中で充電する場合に使用します。

※1 ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

※2 FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01との併用でご利用になれます。

❖電池残量の確認のしかた

ステータスバーに電池残量の目安を示すアイコンが表示されます。→P28
また、次の方法で電池残量の目安をパーセントで確認できます。

- ステータスバーの時計から電池残量アイコンの範囲をタップする
- アプリケーションメニューで［設定］→［端末情報］→［端末の状態］をタップする

✔お知らせ

- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、本端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。

◆ 卓上ホルダ充電の設定

付属の卓上ホルダ F35を使って充電する場合は、本設定を必ず確認してから充電を行ってください。

- 卓上ホルダを使わないで充電する場合は、本設定を変更する必要はありません。

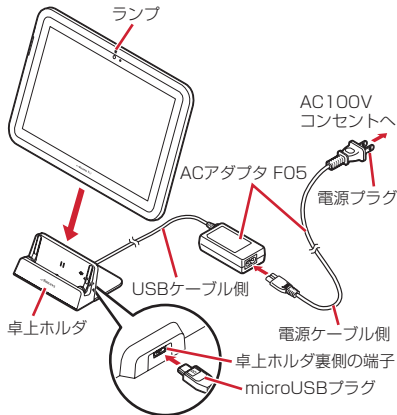
1 アプリケーションメニューで[設定]→[初期設定]→[卓上ホルダ充電]→充電方法を選択

急速充電：付属のACアダプタ F05を接続して充電する場合に選択します。
通常充電：付属のACアダプタ F05以外を接続して充電する場合に選択します。

◆ 卓上ホルダを使って充電

付属のACアダプタ F05と卓上ホルダ F35を使って充電してください。

① ACアダプタの電源ケーブル側とUSBケーブル側をつなぐ
② ACアダプタのmicroUSBプラグを、「B」の表記面を上にして、卓上ホルダ裏側の端子に差し込む
③ ACアダプタの電源プラグをAC100Vコンセントへ差し込む
④ 本端末を卓上ホルダに差し込む
- ランプが赤色に点灯するのを確認してください。充電が終了するとランプは消灯します。

⑤ 充電が終わったら、本端末を卓上ホルダから取り外す
⑥ ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、卓上ホルダからACアダプタのmicroUSBプラグを抜く

◆ ACアダプタを使って充電

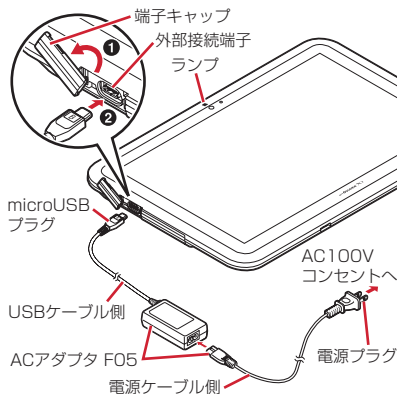
付属のACアダプタ F05を使って充電します。

① ACアダプタの電源ケーブル側とUSBケーブル側をつなぐ

② 本端末の端子キャップを開け（❶）、ACアダプタのmicroUSBプラグを、「B」の表記面を上にして、外部接続端子に差し込む（❷）

③ ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

- ランプが赤色に点灯するのを確認してください。充電が終了するとランプは消灯します。

④ 充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、外部接続端子からACアダプタのmicroUSBプラグを抜く

◆ PC接続用USBケーブルを使って充電

本端末の外部接続端子に付属のPC接続用USBケーブル T01を差し込みパソコンと接続すると、本端末をパソコンから充電することができます。

- パソコン上に「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面が表示されたら、「キャンセル」を選択してください。
- 外部接続端子の充電と卓上ホルダの充電を同時に行うと、卓上ホルダの充電が優先されます。

電源ON／OFF

◆ 電源を入れる

1 [⏻]（2秒以上）

画面ロックがかかった状態で起動します。お買い上げ時は［認証なし］に設定されています。

- 画面ロックの設定、解除→P44

■ 初めて電源を入れたときは

- 画面の案内に従って設定を行います。設定は後から変更できます。
  - 言語の設定→P64
  - 位置情報サービスの設定→P87
  - Googleアカウントの設定→P27
- ソフトウェア更新機能の確認画面が表示された場合は［OK］をタップします。
- 本端末を初期化した場合も、初めて電源を入れたときと同様の動作になります。

◆ 電源を切る

1 **シャットダウン確認画面が表示されるまで、[⏻]を押し続ける→［電源を切る］**

- [⏻]を10秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。

基本操作（タッチパネルの使いかた）

本端末のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。また、向きや動きを検知するモーションセンサーによって、本端末を縦または横に傾けて、画面表示を切り替えることができます。

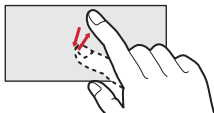
◆ タッチパネル利用上のご注意

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。

- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - タッチパネルが濡れたままでの操作
  - 指が汗や水などで濡れた状態での操作

◆ 主な操作

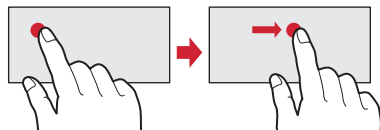
❖ タップ／ダブルタップ

タップ：画面に軽く触れてから離します。画面から指を離した時点で操作が有効になります。
ダブルタップ：すばやく2回続けてタップします。

例：タップ

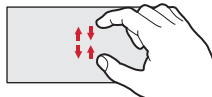
❖ 1秒以上タッチ

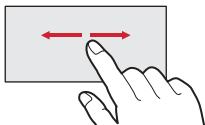
画面に1秒以上触れてから離します。画面に指を触れたまま次の操作を行う場合もあります。
※ 操作の説明では「（1秒以上）」と記載することがあります。

❖ ドラッグ／スライド／パン

ドラッグ：画面の項目やアイコンに指を触れたまま、任意の位置に動かします。
スライド：画面に指を触れたまま、縦横の方向に動かします。
パン：画面そのものを任意の方向にドラッグして見たい部分を表示します。

例：ドラッグ

❖ ピンチ

画面に2本の指で触れたまま、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭くしたり（ピンチイン）します。

❖フリック

画面に触れた指をすばやく払います。

◆ 縦／横画面表示の切り替え

本端末を縦または横に傾けて、縦／横画面表示を切り替えます（オートローテーション）。

- ［画面の自動回転］をチェックすると動作します。→P59
- 表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

ハンドジェスチャーコントロール

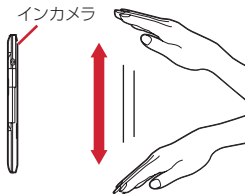
ハンドジェスチャーコントロールとは、インカメラの前で手を振るだけで、タッチパネルに触れずに操作できる機能です。少し離れた位置や濡れた手でも、画面を操作することができます。

- 本機能が起動中は、画面が表示されたままとなり、インカメラが手を検出できる状態を保つため、電池の消費が早くなります。

❖ハンドジェスチャーコントロール利用時のご注意

- ハンドジェスチャーコントロールを利用する際は、卓上ホルダに置くなど固定させた状態でご利用ください。
- 手が正しく検出されるように、次の点にご注意ください。
  - インカメラと手の距離が約40cm～約60cm、角度がインカメラの中心から上下に約15度、左右に約20度となるようにしてください。
  - インカメラに向かって手を上下左右に振ってください。

例：手を左右に振る

例：手を上下に振る

  - ハンドジェスチャーコントロール操作を行った際は、ハンドジェスチャーコントロールを受け付けた方向を示すマークが表示されます。マークが表示されている間は、マークの示す方向以外のハンドジェスチャーコントロール操作は無効となります。マークが消えてから操作してください。
  - 左右どちらの手でも操作できますが、両手で同時に操作できません。
  - 手袋をしたまま操作すると、正しく検出されない場合があります。

- 使用する環境（部屋の明るさ、着衣、背景、光源など）によっては、手を正しく検出できない場合があります。
- 手の振りかたなどによっては、正しく検出できない場合があります。
- カメラの近くで大きな動作をすると、誤って検出される場合があります。
- 本機能を起動すると、［画面の自動回転］（→P59）の設定が無効となり、オートローテーションが動作しません。インカメラが画面の上に位置する状態で操作してください。また、本機能終了後もオートローテーションが無効のままとなるため、再度利用する場合は［画面の自動回転］をチェックし直してください。
- カメラ／ビデオ撮影時は同時に利用できません。カメラを起動すると、本機能は終了します。
- DLNA対応機器連携で利用する場合は、プレーヤーがサーバーと接続されている必要があります。

❖利用できる主な機能と操作

手を上下左右に振ることで、次のような操作ができます。
- 他の機能でも同等に操作できる場合があります。

■ ブラウザ
上下左右：画面の縦横スクロール

■ ワンセグ
上下：音量調整
左右：チャンネル切り替え

■ DLNA
上下：音量調整
左右：動画のスキップ

■ ギャラリー
左右：画像表示中に前後の画像に切り替え

◆ハンドジェスチャーコントロールの利用

ハンドジェスチャーコントロールとアプリケーションを同時に起動しておく必要があります。
- アプリケーションを起動する前後どちらでもハンドジェスチャーコントロールを起動できます。

1 ステータスバーの時計をタップ→[設定アイコン]→ハンドジェスチャーコントロールをON／OFFにする

ONにするとステータスバーに[手のアイコン]が表示されます。

2 アプリケーションでハンドジェスチャーコントロールの操作を行う

- 画面オフの状態にすると、ハンドジェスチャーコントロールはOFFになります。

初期設定

本端末を使うために最初に設定が必要な項目をまとめて設定できます。
- 各設定はいつでも変更できます。

1 アプリケーションメニューで［設定］→［初期設定］

2 各項目を設定

画面ロック：画面ロックについて設定します。→P44
ホーム壁紙：ホーム画面の壁紙を設定します。→P31
フォトスクリーン：ロック画面の画像を設定します。
電話帳コピー：電話帳のコピーをします。→P49
Googleアカウント：Googleアカウントを設定します。
卓上ホルダ充電：卓上ホルダで充電する際の充電方法を設定します。→P23

❖その他の初期設定について

初期設定の項目以外にも、必要に応じて、次の項目を設定してください。

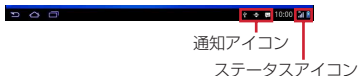
- Eメールのアカウントの設定→P69
- Wi-Fi機能の設定→P52
- アクセスポイント（APN）の設定→P50

画面表示／アイコン

◆ステータスバーのアイコン

ステータスバーに表示される通知アイコンとステータスアイコンで様々な状態を確認できます。

通知アイコン

ステータスアイコン

■ 主な通知アイコン

：新着Gmail
：新着Eメール
：新着SMS
：エリアメール
：SMSの送信失敗
：新着インスタントメッセージ
：ウルトラ統合検索サイトの更新
：カレンダーの通知
：アラームスヌーズ中
※1：ミュージックプレーヤー起動中
：Wi-FiがオンでWi-Fiネットワークが利用可能
：Wi-Fiテザリングが有効
：USB接続中
：USBテザリングが有効
：Wi-FiテザリングとUSBテザリングが有効
：Bluetooth通信でファイル着信
：データのアップロード完了
：データのダウンロード完了
：Androidマーケットなどからのアプリケーションがインストール完了
：イヤホン接続中（端末のマイクからの入力）
：イヤホン接続中（イヤホンマイクからの入力）
：ワンセグ受信中
：ワンセグ録画中
：通知アイコン（ソフトウェア更新有）
：通知アイコン（ソフトウェア更新完了）
：GPS測位中
：VPN接続中
：VPN未接続

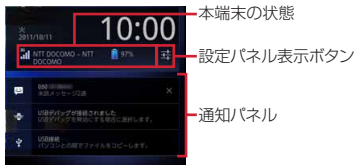
■ 主なステータスアイコン

※2：電波状態
※2：ローミング中
：圏外
：GPRS接続中
：3G（パケット）接続中
：LTE接続中
：機内モード
※2：Wi-Fi接続中
：Bluetooth機能オン
：要充電
：電池残量が少ない
：電池残量十分
：充電中
：マナーモード
：マナー（サイレント）
：マナー（アラーム）
：オリジナルマナー
：ハンドジェスチャーコントロールオン

※1 バックグラウンドで起動中に表示されます。
※2 Googleアカウントでログインしているときに、青色で表示されます。

◆ 通知パネル

ステータスバーの時計をタップすると、通知パネルが表示されます。アイコンで本端末の状態を確認したり、メッセージや予定などの通知を確認したりできます。

1 ステータスバーの時計をタップ

- 各通知をタップすると、詳細を確認したり必要な設定を行ったりすることができます。
- 通知に［×］が表示されているときは、［×］をタップすると通知を削除できます。
- 設定パネル→P29
- 通知パネルを閉じるには、パネル以外のエリアをタップします。

◆ 設定パネル

設定パネルでWi-Fi、Bluetooth、GPS機能などの各種設定をしたり、設定メニューを表示したりできます。

1 ステータスバーの時計をタップ→

2 設定を行う、または［設定］をタップして設定メニューを表示

- 設定メニュー→P50
- 設定パネルを閉じるには、パネル以外のエリアをタップします。

◆ ディスプレイの表示が消えたら

本端末を一定時間操作しなかったときは、画面のタイムアウトの時間に従って自動的にディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。

1 [⏻]

スリープモードが解除されます。

- 画面ロックを設定しているときはロックを解除します。→P45

✔お知らせ

- 手動でスリープモードにする場合は、ディスプレイ表示中に[⏻]を押します。

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面です。[⌂]をタップしていつでも呼び出すことができます。
ホーム画面は、アプリケーションやウィジェットを自由に配置して、カスタマイズできます。最大5画面まで設定でき、各画面は左右にスライドして切り替えられます。

◆ ホーム画面の見かた

① Google検索／音声検索→P63
② アプリケーションメニューを表示→P31
③ ホーム画面のカスタマイズ画面を表示→P30
④ カスタマイズエリア
⑤ 左右にあるホーム画面の数
⑥ 直前の画面に戻る
⑦ ホーム画面を表示
⑧ 最近使用したアプリケーションを表示→P34
⑨ ステータスバー→P28

◆ 画面のカスタマイズ

ホーム画面に好みのアプリケーションのショートカットやウィジェットを自由に配置したり、壁紙を変更したりできます。また、画面のカラーテーマやスタイルを変更することもできます。

❖ウィジェットやショートカットの追加

1 **ホーム画面で[＋]**

2 **［ウィジェット］／［アプリ］／［その他］→追加したい画面に項目をドラッグ**

ホーム画面に選択した項目が貼り付けられます。
- 貼り付けた項目はドラッグして位置を変更できます。

✔お知らせ

- 短縮メールのウィジェットを2つ以上貼り付けても、登録できる件数は最大4件です。すべての短縮メールのウィジェットが連動して同じ内容になります。

❖ショートカットやウィジェットの削除

1 **ホーム画面で左右にスライドしてカスタマイズしたいホーム画面を表示**

2 **削除するショートカットやウィジェットを選択（1秒以上）→そのまま[削除]にドラッグ→アイコンが赤色に変わったら指を離す**

❖ホーム画面の壁紙の変更

1 ホーム画面で＋

2 [壁紙]→[ギャラリー]／[ライブ壁紙]／[壁紙]→画像を選択

- ［ギャラリー］をタップして画像を選択した場合は、トリミング枠の内部をドラッグして位置を指定し、トリミング枠の角をドラッグして拡大／縮小したあと［OK］をタップして設定完了です。
- ［ライブ壁紙］をタップして画像を選択した場合は、［壁紙に設定］をタップして設定します。画像によっては、［設定］をタップして画像の詳細設定ができます。

❖カラーテーマやスタイルの変更

1 ホーム画面で＋

2 [スタイル]→[カラーテーマ変更]／[スタイル変更]→アイテムを選択

- ［スタイル変更］をタップした場合は、［＋新規作成］をタップしてスタイルを作成・設定することもできます。
- スタイルの選択画面でスタイルを1秒以上タッチし、そのまま 削除 にドラッグしてアイコンが赤色に変わったら指を離し、［はい］をタップすると削除できます。

アプリケーション画面

アプリケーションメニューを呼び出し、登録されているアプリケーションを起動したり、本端末の設定を変更したりできます。

- アプリケーションによっては、起動時に「画面適合ズーム」の確認画面が表示されます。［OK］をタップすると、アプリケーションの表示サイズが本端末に合わせられ、次回から確認画面は表示されません。ステータスバーのをタップすると、表示サイズを変更できます。

◆アプリケーションメニューの表示

1 ホーム画面で アプリ

アプリケーションメニューが表示されます。

ソートして表示：**［ソート］→［名前順］／［ダウンロード順］／［利用頻度順］／［カスタマイズ順（編集に従う）］**

ページ切り替え：**左右にスライド**

◆主なアプリケーション一覧

- アプリケーションによっては、別途お申し込み（有料）が必要なものがあります。

BeeTV：BeeTVは携帯電話専用放送局です。オリジナルのドラマ、音楽、バラエティなどの番組を視聴できます。

BOOK☆WALKER：ライトノベル、コミック、文芸、新書など、角川グループの書籍が満載のストア・ビューワ一体型の電子書籍アプリです。電子版ならではの限定作品や無料サンプルもあります。

BOOKストア 2Dfacto：本格的な文芸書、人気のコミック、話題のビジネス書など、数多くのジャンルの電子書籍を購入、閲覧できる電子書籍ストアです。

ecoモード：電池の消費を抑えるecoモードを利用できます。電池残量に応じて自動でONにしたり、ウィジェットから簡単に設定を変更したりできます。

Evernote Launcher：EvernoteはWebサイトの内容や撮影した画像、アイデアのメモなど、様々な情報をサーバーに保存し、必要なときに検索・閲覧できるサービスです。情報の保存や閲覧は本端末だけでなく、パソコンやその他デバイスからも行えます。

※本アプリケーションのご利用には、Evernoteアカウントの作成が必要です。

Fanplus：「ファンプラス」は、宝塚、D-BOYS、アニメ、グラビアアイドルなどのエンタメ系、サッカー、テニス、女子プロゴルフなどのスポーツ系、鉄道、歴史、落語などの文化系など多彩なコンテンツが集まるファンサイトです。

Gmail：Googleアカウントのメールを送受信できます。→P71

Google検索：本端末内の機能やWebサイトを検索します。

Gガイド番組表：地上波テレビやBSデジタル放送の番組表が閲覧できるアプリです。キーワードやジャンルによる番組検索、外出先からの遠隔録画も可能です。

Hulu：人気ハリウッド映画や海外ドラマが定額で楽しめるアプリです。

JOOKEY：吉本芸人を中心とした有名人や専門家がお届けする情報バラエティ番組を視聴することができます。

Latitude：地図上で友だちと位置を確認しあうことができます。→P89

Mobage：Mobage提供のコンテンツを楽しむためのアプリです。

My docomo アプリ：ご利用料金やドコモポイントなどの情報を手軽に参照できるアプリです。

Pulse：各種RSSやニュースサイトの情報をサムネイル形式で表示し、直感的操作で自分の欲しい情報を簡単に閲覧できるニュースリーダーアプリです。

Qik Video：ソーシャルビデオシェアリング／ビデオチャット／ビデオメール／ビデオアーカイブなどの統合的なビデオコミュニケーションを、ひとつのアプリで簡単に楽しめるサービスです。

spモードメール：ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。→P67

Twitter：Twitterの公式クライアントアプリです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。

Twonky Special：スマートフォン内やインターネット上の動画・写真・音楽を、DLNA対応のTVやオーディオにワイヤレス再生することができます。

※インターネット上のコンテンツをご利用になる場合には、インターネットへ接続可能なアクセスポイントが必要です。

VirusScan（ドコモ あんしんスキャン）：端末をウイルス被害から守るアプリです。インストールしたアプリやmicroSDカードなどに潜むウイルスを検出します。

YouTube：YouTubeの動画が見られます。→P83

エリアメール：緊急速報「エリアメール」の受信と、受信したエリアメールの確認ができるアプリです。→P71

カメラ：写真やビデオを撮影します。→P79

カレンダー：カレンダーの表示とスケジュールの登録ができます。→P95

ギャラリー：カメラで撮影したり、Webページからダウンロードして、microSDカードに保存した静止画や動画を表示できます。→P81

ジークラウド：NHN Japan提供のクラウド環境でゲームを楽しむためのアプリです。

ダウンロード：サイトからダウンロードした画像などを管理できます。

トーク：Googleトークを利用してチャットができます。→P72

ドコモマーケット：アプリも動画も探せるドコモマーケットにアクセスすることができます。→P86

ドコモ海外利用：海外でのパケット通信利用をサポートするアプリです。データローミング設定や海外パケ・ホーダイを利用する際の対象事業者設定を簡単に行うことができます。

ナビ：Googleマップナビを利用して、目的地までのルートを検索できます。

ブラウザ：パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。→P73

プレイス：Googleプレイスを利用して、近くの場所の詳細情報を検索できます。→P89

マーケット：Androidマーケットを利用します。→P84

マップ：現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。

メール：パソコンなどとEメールの送受信ができます。→P69

メッセージ：SMSの送受信ができます。→P67

音楽：音楽を再生します。→P81

音声レコーダー：音声を録音できます。

音声検索：音声でWebサイト内の情報を検索します。

時計：時計の表示やアラームの設定をします。→P95

取扱説明書：本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。

※「はじめに」の「F-01Dの操作説明」をご覧ください。

書籍・コミック E★エブリスタ：プロ作家・有名人のオリジナル作品から一般ユーザの人気投稿作品まで、話題の電子書籍・コミックが閲覧できます。

設定：本端末の各種設定を行います。

地図アプリ：地図・お店や施設検索・ナビ・乗換・訪れた街などの機能でおでかけをサポートします。

電卓：加算、減算、乗算、除算などの計算ができます。→P96

電話帳コピーツール：microSDカードなどの外部記録媒体を利用して電話帳データの移行やコピーができるアプリです。

楽天オークションweb：楽天オークションへの出品および入札ができるアプリです。

連絡先：電話番号やメールアドレスなどを登録でき、連絡先から簡単な操作で連絡できます。→P47

◆ その他のアプリケーション一覧

@Fケータイ応援団：@Fケータイ応援団のサイトに接続します。

Adobe Reader：PDFファイルの表示ができます。

Backup：電話帳、SMS、ブックマーク、画像、動画、音楽、システム設定などをmicroSDまたはクラウドへバックアップ／リストアします。

BooksV：BooksV（ブックスブイ）は富士通が提供する書籍・雑誌、ビジネスに使える統計・レポートなどのコンテンツを販売するサービスサイトを簡単に利用できるアプリです。

DiXiM Player：DLNA対応機器のコンテンツを本端末で再生できます。→P93

DiXiM Server：本端末のmicroSDカードに保存されている画像をDLNA対応機器に配信できます。→P93

Document Viewer：Microsoft officeファイルなどを表示できます。→P97

F media2U：音楽・動画再生用メディアプレイヤーアプリです。

F-LINK：Wi-Fi機能を利用して、静止画や動画などのファイルをF-LINK対応機器と簡単に送受信できます。

GREE：2,500万人以上のユーザーがコミュニケーションや無料ゲームを楽しんでいるGREEの公式アプリケーションです。

HOT PEPPER HD：お店情報をサクサク検索できる最新の検索技術満載の飲食店検索アプリです。また、お得なクーポンも検索できます。

Ksfilemanager：高機能ファイルマネージャーアプリです。

Nissen_downloader：レディースファッションを中心に、インナーウェア、シューズ、バックから家具、美容用品まで幅広いアイテムを指一本でショッピングできます。

TSUTAYA TV：映画やアニメなど広いジャンルの映像を好きな時にお楽しみいただけるサービスです。

ウルトラ統合検索：キーワードを入力し、ショッピングやグルメなどの検索サイト内をダイレクトに検索します。→P63

サロン検索：日本最大級のヘアサロン、リラクゼーション、整体・カイロプラクティック・矯正、ネイル、リフレッシュ（温浴・酸素など）、アイビューティー・メイクなど、エステティック情報が満載のネット予約サイトです。

じゃらん：2万軒以上の宿泊施設や、「宿泊プラン」を検索することができる（株）リクルートが提供する、旅行情報サイト「じゃらんnet」のアプリです。

スケジュールストリートHD：TODOやテキスト・写真・ボイスメモ機能を搭載し、リフィル感覚でスケジュール帳の機能やデザインを追加することができる、システム手帳アプリケーションです。

スタイル変更：画面のスタイルを変更します。

すまふぉ DL：ひかりTVが提供する多チャンネル放送サービスの番組表を快適に閲覧できるアプリケーションです。

タスクマネージャ：実行中のアプリケーションを表示し、終了させることができます。

テレビ：ワンセグを視聴します。→P89

パスワードマネージャー：IDやパスワードなど認証情報を登録し、登録した内容を引用できます。→P41

ホーム画面切替：ホームアプリを切り替えるためのアプリです。

ポンパレ：チケットの共同購入ができます。

今日何つくる？楽天レシピ for タブレット：楽天が運営するレシピサイト、楽天レシピの公式投稿アプリです。

統合辞書＋：日本を代表する辞書をひとつのパッケージにおさめた、毎日の学習・仕事のあらゆるシーンに対応できる辞書ソフトです。→P96

◆ 最近使用したアプリケーションの起動

1 →起動したいアプリケーションを選択

文字入力

ディスプレイに表示されるソフトウェアキーボードを使って、文字を入力します。

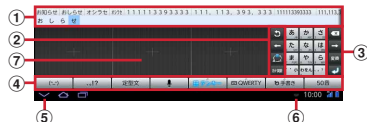
- ここでは、主にNX!input powered by ATOKでの入力について説明します。

◆ キーボードの使いかた

テンキーキーボード、QWERTYキーボード、手書きキーボード、50音キーボードを使って文字を入力できます。

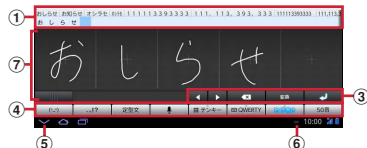
- 各キーボードから、音声文字入力を起動することもできます。→P37

■ テンキーキーボード

入力方式の設定により、ケータイ入力、ジェスチャー入力、ジェスチャー入力Pro、フリック入力の4種類の入力方式を使用できます。→P36

■ QWERTYキーボード

ローマ字入力で入力します。

■ 手書きキーボード

手書きで文字を入力します。

■ 50音キーボード

50音順、アルファベット順で入力します。

英数入力モード時

① 変換候補表示領域：文字を入力したときに変換候補を表示、選択

- 変換候補の表示領域を左右にスライドすると隠れている候補を表示できます。キーボードによっては、変換候補の下に、確定前の文字列が表示されます。
- 文字入力欄によっては、変換候補が表示されない場合があります。

② 戻す：直前に確定した文字を変換前の文字に戻す

↺：テンキーキーボードでの入力で、キーに割り当てられた文字を逆順に表示

←：カーソルを左に移動

↑／↓：カーソルを上下に移動

あA／あABC／あAB12：入力モードの切り替え（かな・英字・数字）／（かな・英字）／（かな・英数字）

- 1秒以上タッチすると、NX!inputメニューでATOKの設定や単語登録ができます。

ひらがな／カタカナ：ひらがな／カタカナの切り替え

⇧：英字入力時の大文字と小文字の切り替え

- 50音キーボードではタップするたびに、大文字→大文字固定→小文字に切り替わります。
- 各キーを上にフリックしても、大文字で入力できます。

Caps Lock：大文字固定に設定／解除

記号数字：数字記号入力モードに切り替え

- 各キーを下にフリックしても、キーに割り当てられている数字や記号を入力できます。

∧：絵文字、顔文字、記号、定型文、文字コードの入力、パスワードマネージャーや連絡先の引用入力のメニューに切り替え

- キーボードの非表示の操作にも利用します。

後変換：かな／全角カタカナ／半角カタカナ、英字の後変換候補から選択

カナ英数：カタカナ／数字／英数／年月日（全角／半角）などに変換

③ ⌫／Clear：カーソルの左側の文字を削除

→：カーソルを右に移動

小大文字／小大文字：小文字・濁点・半濁点／大文字の切り替え

- 現在の設定は水色で表示されます。

全角半角／全角半角：全角／半角の切り替え

- 現在の設定は水色で表示されます。

変換／␣：文字の変換／空白の入力

Next／↵：次の入力項目にカーソル移動／確定または改行

- この他にも、Go、🔍、Doneなど、機能が変化する場合があります。

◀／▶：手書きキーボードで左右の表示枠に1文字分だけ移動

④ テンキー／QWERTY／手書き／50音：キーボードの切り替え

(^_^)／、。!?／定型文／絵文字：顔文字／記号／定型文（spモードメール本文入力時以外）／絵文字（spモードメール本文入力時）の入力

🎤：音声入力の起動

テンキー：1秒以上タッチでテンキーキーボードの位置の切り替え

- テンキーキーボードの上で2本の指で移動方向にドラッグしても位置を切り替えられます。

QWERTY：1秒以上タッチでQWERTYキーボードの分割キーボードと通常キーボードの切り替え
- QWERTYキーボードの上でピンチアウト、ピンチインしても切り替えられます。

手書き：1秒以上タッチで手書きキーボードの枠数の切り替え

⑤ ：キーボードの非表示
⑥ ：キーボードの各種設定
⑦ 手書き入力領域：指で文字を書いて入力
- 入力確定していない文字をタップすると、補正候補の文字が表示されます。文字をタップすると入れ替えることができます。
- 右端の枠に文字を書くと、自動的にスクロールして左端の枠に移動します。
- QWERTYキーボードで、左右にキーボードを分けたときは中央に表示されます。
- をスライドすると隠れた入力領域を表示できます。

❖キーボードの表示／非表示

■ キーボードの表示

1 文字入力欄を選択

■ キーボードの非表示

1 キーボード表示中に

- をタップして、ガイドが表示されたらそのまま任意の方向にスライドし、がに切り替わってから、再度にスライドして指を離しても非表示にできます。

❖テンキーキーボードの入力方式

テンキーキーボードでは、次の4つの入力方式を利用できます。
- ソフトウェアキーボードの設定で入力方式を選択します。→P38

■ ケータイ入力

入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が表示されるまで続けてタップします。

■ ジェスチャー入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチしたままにすると、キーの周りに文字（ジェスチャーガイド）が表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。
- 濁音／半濁音／拗音を入力するには、キーから指を離さず下に1回または2回スライドします。キーの周りに濁音／半濁音／拗音のジェスチャーガイドが表示されますので、指を離さず目的の文字までスライドします。

例：「ぱ」を入力する場合

- 英数字入力モードの場合は、キーをタッチした指を離さず下にスライドすると、大文字／小文字を切り替えることができます。

■ ジェスチャー入力Pro

ジェスチャーガイドの表示／非表示やジェスチャーガイドが表示されるまでの速さを設定できます。
- 設定方法は［ソフトウェアキーボードの設定］をご覧ください。→P38

■ フリック入力

入力したい文字が割り当てられているキーをタッチしたままにすると、キーの上に文字（フリックガイド）が表示されます。指を離さず目的の文字の方向にフリックします。
- 濁音／半濁音／拗音を入力するには、フリックしたあとを1回または2回タップします。

◆ 便利な入力機能

絵文字や記号、定型文の入力をしたり、連絡先のデータを引用したりできます。

❖絵文字／顔文字／記号パレットで入力

- 絵文字はspモードメール作成時に入力できます。

1 →（絵文字）／（顔文字）／（記号）
- キーボード上に／(^_^)／、。!?が表示されているときは、それをタップしても同様の操作ができます。

2 **カテゴリーを選択→アイテム一覧から入力したい絵文字／顔文字／記号を選択**
- パレット上部のカテゴリー欄を左右にスクロールすると、表示されていないカテゴリーを表示できます。
- アイテム一覧を左右にスクロールすると、表示されていないアイテムを表示できます。
- パレットの左上にある［履歴］をタップすると、最も新しく入力したアイテムを先頭に履歴一覧が表示されます。履歴一覧から入力することもできます。

❖定型文の入力

1 →定型文
- キーボード上に定型文が表示されているときは、それをタップしても同様の操作ができます。

カテゴリー

2 **カテゴリーを選択→一覧から入力したい定型文を選択**

❖文字コード表から入力

1 →文字コード

カテゴリー

2 **カテゴリーを選択→一覧から入力したい文字を選択**

❖電話帳から引用して入力

1 →

2 **［電話帳／ATOKダイレクト］→連絡先リストで名前を選択→引用する項目にチェック→［OK］**

❖音声文字入力

音声を文字に変換して入力します。
- ネットワークに接続されていない場合は、利用できません。

1 **文字入力中に→入力したい言葉を発声**

2 認識結果候補一覧から文字を選択

- 発声した言葉が正しく認識されない場合は、認識エラー画面で[やり直す]をタップすると、再度発声できます。
- 認識結果候補一覧では、上下にスクロールすると、表示されていない候補を表示できます。

◆ Androidキーボードに切り替え

Androidキーボードに切り替えて入力することもできます。

- Androidキーボードは日本語のキー入力に対応していません。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[言語と入力]→[現在の入力方法]

2 Androidキーボードの種類を選択

✔**お知らせ**

- ATOKキーボードに戻すには、操作2で［NX!input］を選択します。

◆ ATOKの設定

❖ソフトウェアキーボードの設定

1 アプリケーションメニューで[設定]→[言語と入力]→[入力方法の設定]→「NX!input」欄の[設定]→[ソフトウェアキーボード]

2 各項目を設定

キー操作音：チェックを付けると、キーをタップしたときに操作音が鳴ります。

キー操作バイブ：チェックを付けると、キーをタップしたときに端末が振動します。

入力方式※1：テンキーキーボードでの入力方式を設定します。

トグル入力※1：［ケータイ入力以外でもトグル入力する］にチェックを付けると、ジェスチャー入力やフリック入力の使用時にもトグル入力できます。［自動カーソル移動を行う］にチェックを付けると、同じキーをタップ中に一定時間タップしないとカーソルが自動的に右へ移動し、次の文字の入力待ち状態となります。また、カーソルが移動するまでの時間（タップ間隔）を設定できます。

文字削除キー※1：［BS］を選択すると、をタップしたときカーソルの左側の文字が削除されます。［CLR］を選択すると、Clearをタップしたときカーソルの右側の文字が削除されます。

ジェスチャーガイド※1：ジェスチャー入力Pro設定中に、「ジェスチャーガイドを表示する」のチェックを外して［OK］をタップすると、ジェスチャーガイドが表示されなくなります。チェックを付けると、キーをタップしてからジェスチャーガイドが表示されるまでの速さを設定できます。

フリックガイド※1：入力方式がフリック入力のときに、チェックを付けるとフリックガイドを表示します。

フリック感度※1：入力方式がフリック入力のときに、フリック入力の感度を調整します。

切り替え時は英字※2：チェックを付けると、テンキーキーボードからQWERTYキーボードに切り替えたときの入力モードを半角英字にします。

英字は確定入力※2：チェックを付けると英字入力時に1文字ごとに確定して入力します。

自動スペース入力※2：チェックを付けると、英字入力モードで単語を確定したときに、自動的にスペースを挿入します。

縦画面の数字キー表示※2：チェックを付けると、QWERTYキーボードを縦画面で表示したときに数字キーを表示します。

横画面の数字キー表示※2：チェックを付けると、QWERTYキーボードを横画面で表示したときに数字キーを表示します。

上書き手書き入力※3：QWERTYキーボードや50音キーボードが表示されている状態で手書き入力ができるようにするかを設定します。

上書き手書き枠数（縦画面）※3：縦画面で手書き入力をする場合の枠数を設定します。
上書き手書き枠数（横画面）※3：横画面で手書き入力をする場合の枠数を設定します。
確定速度※3：手書き入力時の文字の確定速度を設定します。
手書きジェスチャー※3：1文字削除する操作と空白を入力する操作をジェスチャー表示します。
※1 テンキーキーボードの設定です。
※2 QWERTYキーボードの設定です。
※3 手書き入力の設定です。

❖入力・変換に関する設定

1 アプリケーションメニューで[設定]→[言語と入力]→[入力方法の設定]→「NX!input」欄の[設定]→[入力･変換]

2 各項目を設定

推測変換：チェックを付けると、推測変換の変換候補を表示します。
未入力時の推測候補表示：推測変換が有効のときにチェックを付けると、次の文字を入力する前に入力予測候補を表示します。
スペースは半角で出力：日本語入力時にスペースを半角で入力します。

❖学習データの初期化

一度入力した語句は自動的に記憶され、推測変換の変換候補として表示されます。学習データの初期化を行うと、学習した内容がすべて消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[言語と入力]→[入力方法の設定]→「NX!input」欄の[設定]→[入力･変換]

2 [学習データの初期化]→[OK]

❖キーボードのデザイン変更

1 アプリケーションメニューで[設定]→[言語と入力]→[入力方法の設定]→「NX!input」欄の[設定]→[デザイン]

2 各項目を設定

テーマ：ATOKソフトウェアキーボードのデザインテーマを設定します。
シンプルテイスト：チェックを付けるとキーボードのデザインをシンプルにします。
キーサイズ（縦画面）：縦画面表示のときのキーボードのサイズを設定します。
キーサイズ（横画面）：横画面表示のときのキーボードのサイズを設定します。
文字サイズ：変換候補の文字サイズを設定します。
表示行数（縦画面）：縦画面表示のときの変換候補の行数を設定します。
表示行数（横画面）：横画面表示のときの変換候補の行数を設定します。

❖ユーザー辞書について

よく使う単語をあらかじめユーザー辞書に登録しておくと、その読みを入力したとき変換候補として優先的に表示されます。

■ ユーザー辞書に単語を登録

1 アプリケーションメニューで[設定]→[言語と入力]→[入力方法の設定]→「NX!input」欄の[設定]→[ツール]→[辞書ユーティリティ]

2 ▤→[新規登録]

3 「単語」に登録する単語を入力

4 「読み」に読みかたを入力

5 品詞を選択→[登録]

■ 登録単語の修正

1 辞書ユーティリティ画面で修正したい単語を選択

2 内容を修正→[修正]

■ 登録単語の削除

1 辞書ユーティリティ画面で削除したい単語を選択(1秒以上)→[削除]→[はい]

全件削除する：辞書ユーティリティ画面で→[全削除]→[はい]

■ 登録単語をmicroSDカードに保存

1 辞書ユーティリティ画面で→[一覧出力]

2 「場所」欄で[sdcard]→保存するフォルダを選択

3 ファイル名を入力→[OK]→[実行]→[閉じる]

✔お知らせ

- microSDカードに保存した単語データを読み込むには、辞書ユーティリティ画面で→［一括登録］→「場所」欄で［sdcard］→フォルダを選択→ファイルを選択→［OK］→［登録］→［閉じる］をタップします。文字入力の確定時に自動的に学習された単語も登録する場合は、［自動登録単語は含めない］のチェックを外してください。

❖定型文の追加

1 アプリケーションメニューで[設定]→[言語と入力]→[入力方法の設定]→「NX!input」欄の[設定]→[ツール]→[定型文ユーティリティ]

定型文一覧画面が表示されます。

- →［カテゴリー］→→［新規作成］をタップすると、新規カテゴリーを追加できます。

2 →[新規作成]

3 定型文を入力→「カテゴリー」欄でカテゴリーを選択→[登録]

❖定型文の編集

■ 定型文の本文編集

1 定型文一覧画面で編集したい定型文を選択

2 変更内容を入力→[登録]

- 新規に作成した定型文の本文を編集すると、タイトルも連動して変更されます。タイトルを本文と連動させたくない場合は、定型文のタイトル変更をしてください。

■ 定型文のタイトル変更

1 定型文一覧画面でタイトルを変更したい定型文を選択(1秒以上)

2 [タイトル変更]→変更内容を入力→[OK]

■ 定型文のカテゴリー変更

1 定型文一覧画面でカテゴリーを変更したい定型文を選択(1秒以上)

2 [カテゴリー移動]→移動先のカテゴリーを選択

■ 定型文の削除

1 定型文一覧画面で削除したい定型文を選択（1秒以上）

2 [削除]→[はい]

✔お知らせ
- 定型文データをお買い上げ時の状態に戻すには、定型文一覧画面で≡→［初期化］→［はい］をタップします。

❖ATOK設定の初期化

ATOKの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[言語と入力]→[入力方法の設定]→「NX!input」欄の[設定]→[設定の初期化]→[OK]

✔お知らせ
- 設定を初期化しても、学習データやユーザー辞書の単語、追加した定型文は消去されません。

◆ テキスト編集

文字入力欄、Webサイトやドキュメント、受信メールなどのテキストコピー、文字入力欄でのテキストの切り取り、貼り付けの操作ができます。
- アプリケーションの種類によって、操作方法が異なる場合があります。

❖テキストのコピー／切り取り

1 テキスト上を1秒以上

選択されたテキストが黄緑色でハイライト表示されます。
- ［すべて選択］をタップして選択することもできます。
- テキスト範囲の両端にあるつまみをスライドすると選択範囲を調節できます。
- 選択範囲を解除するには、選択範囲外をタップするか、［完了］をタップします。

2 [コピー]／[切り取り]

❖テキストの貼り付け

1 貼り付け位置にカーソルを移動→テキスト上を1秒以上→[貼り付け]

カーソル位置にクリップボードのテキストが貼り付けられます。
- 範囲選択してから［貼り付け］をタップすると、選択範囲が貼り付けたテキストで上書きされます。

◆ パスワードマネージャー

ID（アカウント）やパスワードなど認証情報を登録して、登録した内容を引用して入力できます。
- 最大50件登録できます。

❖パスワードの登録／編集

1 アプリケーションメニューで[パスワードマネージャー]

2 マスターパスワードを入力→[OK]

マスターパスワードの登録：新規マスターパスワードを入力→同じパスワードを入力→［OK］
マスターパスワードの変更：≡→［マスターパスワード変更］→マスターパスワードを入力→［OK］→新規マスターパスワードを入力→同じパスワードを入力→［OK］

3 ＋→各項目を設定→[OK]

パスワードの変更：パスワードタイトル一覧からタイトルを選択→✎→各項目を変更→［OK］

パスワードの削除：パスワードタイトル一覧からタイトルを選択→🗑→［OK］

パスワードの全件削除：≡→［全件削除］→［OK］

✔お知らせ

- マスターパスワードの入力に3回失敗するとパスワードマネージャーは終了します。

❖登録したパスワードの引用

1 文字入力中にキーボードの∧→Pass

パスワードマネージャーが起動します。

2 マスターパスワードを入力→[OK]→タイトルを選択→「ID(アカウント)」欄または「パスワード」欄の↵

文字入力欄に「ID（アカウント）」欄または「パスワード」欄の登録内容が入力されます。

- 「ID（アカウント）」欄や「パスワード」欄の文字を1秒以上タッチすると、クリップボードにコピーできます。

ロック／セキュリティ

◆本端末で利用する暗証番号

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書巻末の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

❖ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモインフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※の「docomoID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

※「My docomo」については、本書巻末の1つ前のページ（eトリセツでは、「付録」の「マナーもいっしょに携帯しましょう」）をご覧ください。

❖PINコード

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P43
PINコードは、第三者による本端末の無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PINコードを入力することにより、端末操作ができます。

- 別の端末で利用していたドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

❖PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

◆ PINコードの設定

❖SIMカードロックの設定

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[現在地情報とセキュリティ]→[SIMカードロック設定]**

2 **[SIMカードをロック]→PINコードを入力→[OK]**

[SIMカードをロック］にチェックが付きます。

- 設定を解除するには、[SIMカードをロック］→PINコードを入力→［OK］でチェックを外します。

✔お知らせ

- 初めてPINコードを入力する場合は、「0000」を入力してください。

❖PINコードの変更

PINコードを変更するには、あらかじめPINコードを設定（[SIMカードをロック］にチェックを付ける）しておく必要があります。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[現在地情報とセキュリティ]→[SIMカードロック設定]**

2 **[SIM PINの変更]**

3 現在のPINコードを入力→[OK]

4 新しいPINコードを入力→[OK]

5 新しいPINコードを再入力→[OK]

❖PINコードの入力

1 電源を入れる→PINコード入力画面でPINコードを入力→[OK]

❖PINロックの解除

1 PINコードがロックされた状態で[PINロック解除]

2 [**05*[PINロック解除コード]*[新しいPINコード]*[新しいPINコード]#]と入力

- 例えば、PINロック解除コードが88888888でPINコードを7777に変更する場合、「**05*88888888*7777*7777#」と入力します。

◆ 画面ロック

画面ロックを設定するとスリープモードから復帰したときや電源を入れたときに、認証操作が必要となるので、他人が不正に本端末を使用するのを防ぐことができます。

- 画面ロックでは、パターン、暗証番号、パスワードの3種類から解除方法を設定できます。

❖画面ロックの設定

ロック解除方法を設定して画面ロックを有効にします。

- パターン、暗証番号、パスワードを変更するときは、設定し直してください。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[現在地情報とセキュリティ]→[画面ロックの設定]

- 画面ロックが有効になっているときは、［画面ロックの設定］をタップしたあとにロック解除操作が必要です。

2 [OFF]／[認証なし]／[パターン入力]／[暗証番号入力]／[パスワード入力]

ロックをかけない：**[OFF]**

セキュリティで保護しない：**[認証なし]**

- ロック解除画面を表示しますが、セキュリティで保護されません。

パターンの入力で解除：**[パターン入力]→垂直、水平、対角線方向に最低4つの点を結ぶようにスライドしてパターンを入力→[次へ]→同じパターンを入力→[確認]**

- 初めて設定するときは、パターン例が表示されます。

暗証番号の入力で解除：**[暗証番号入力]→4～16桁の暗証番号を入力→[次へ]→暗証番号を再入力→[OK]**

パスワードの入力で解除：**[パスワード入力]→アルファベットを含む4～16桁のパスワードを入力→[次へ]→パスワードを再入力→[OK]**

✔お知らせ

- 自動的にスリープモードになってからロックをかける時間を設定するには、アプリケーションメニューで［設定］→［現在地情報とセキュリティ］→［タイムアウト］→設定する時間をタップします。
- 画面ロック解除時にパターンを表示させたくない場合は、アプリケーションメニューで［設定］→［現在地情報とセキュリティ］→［指の軌跡を線で表示］をタップしてチェックを外します。
- パターン入力時に振動させたい場合は、アプリケーションメニューで［設定］→［現在地情報とセキュリティ］→［入力時バイブレーション］をタップしてチェックを付けます。

❖画面の手動ロック

1 [⏻]

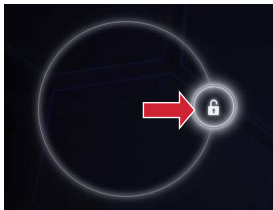
スリープモードになり、画面ロックがかかります。

❖画面ロックの解除

1 スリープモード中に[⏻]

- 電源を入れたときは、起動画面のあとにロック画面が表示されます。

2 画面ロック設定の種類に応じて解除操作

[認証なし] の場合：ロック画面の🔒を円の外までスライド

[パターン入力] の場合：パターンを入力
[暗証番号入力] の場合：暗証番号を入力→[OK]
[パスワード入力] の場合：パスワード入力欄をタップ→パスワードを入力→[OK]

❖解除方法を忘れたときは

画面ロックの解除方法を忘れたときは、次の操作で新しいパターン／暗証番号／パスワードを設定してから解除してください。

- ロックの解除に5回失敗すると、30秒後にもう一度やり直すことができます。
- Googleアカウントでログインしている状態で操作してください。

1 ロック解除画面で[パターンを忘れた場合]／[暗証番号を忘れた場合]／[パスワードを忘れた場合]→Googleアカウントでログイン→画面に従って新しいパターン／暗証番号／パスワードを設定

❖所有者情報の表示

ロック画面に所有者情報を表示することができます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[現在地情報とセキュリティ]→[所有者情報]→[ロック画面に所有者情報を表示]にチェック

2 所有者情報を入力

◆パスワードの表示

パスワードを入力するときに、入力した文字を表示するように設定できます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[現在地情報とセキュリティ]→[パスワードを表示]にチェック

◆ 認証情報の管理

セキュリティ保護されたWi-FiネットワークやVPNに接続するための認証情報やその他の証明書をmicroSDカードからインストールできます。また、認証情報や証明書を保管する認証情報ストレージにパスワードを設定できます。

❖ 認証情報ストレージのパスワード設定

1 アプリケーションメニューで[設定]→[現在地情報とセキュリティ]→[パスワードの設定]

2 パスワードを入力→パスワードを再入力→[OK]

❖ 認証情報や証明書の利用設定

本端末のアプリケーションにパスワード設定された認証情報ストレージへのアクセスを許可することで、認証情報や証明書を有効にします。

- あらかじめ認証情報ストレージにパスワードを設定してください。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[現在地情報とセキュリティ]

2 [安全な認証情報の使用]にチェック

3 認証情報ストレージのパスワードを入力→[OK]

❖ 認証情報ストレージの消去

認証情報ストレージからすべての認証情報や証明書を消去して、ストレージのパスワードをリセットします。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[現在地情報とセキュリティ]→[認証ストレージの消去]→[OK]

❖ microSDカードから認証情報や証明書をインストール

1 アプリケーションメニューで[設定]→[現在地情報とセキュリティ]→[SDカードからインストール]

2 インストールする認証情報／証明書を選択

3 必要な場合はパスワードを入力→[OK]

4 認証情報／証明書の名前を入力→[OK]

- 認証情報ストレージにパスワードを設定していない場合は、画面の指示に従ってパスワードを設定します。

◆ 端末の暗号化

本端末の紛失や盗難により、他人がパソコンから端末内のデータを見られないように、各種データを暗号化して保護します。

- 暗号化した場合は、電源を入れたときにPINコードの入力後に復号化されます。
- 暗号化する前に、必ず画面に表示される説明を確認してください。

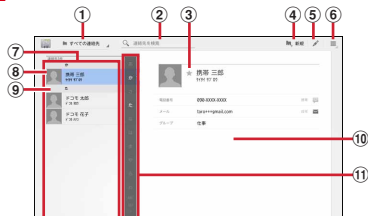
1 アプリケーションメニューで[設定]→[現在地情報とセキュリティ]→[端末の暗号化]

2 [携帯端末を暗号化]

連絡先

連絡先の使いかた

連絡先には電話番号やメールアドレスなどを入力できます。連絡先から簡単な操作で登録した人に連絡できます。

1 アプリケーションメニューで[連絡先]

連絡先画面

① すべての連絡先
表示する連絡先のグループを選択します。

② 連絡先を検索
タップしてキーワードを入力し、連絡先を検索します。

③ ★
タップすると連絡先のグループ「スター付き」に登録されます。

④ 新規
連絡先を新規登録します。

⑤
連絡先を編集します。

⑥
連絡先のサブメニューを表示します。

⑦ 連絡先リスト
連絡先を選択できます。連絡先リスト上でタップすると、インデックスが表示されます。

⑧ 名前
タップして個人情報画面に情報を表示します。

⑨ インデックスバー

⑩ 個人情報画面
選択した相手の個人情報を表示します。項目をタップして、SMSやEメール送信ができます。

⑪ インデックス
文字や名前を選択して連絡先を検索できます。
連絡先リストをタップ→インデックスの文字を選択→そのまま次の階層の文字までスライド→そのまま登録済みの名前までスライドすると、選択した連絡先が連絡先リストの先頭に表示されます。ただし、登録件数が少ないと先頭に表示されない場合があります。

❖連絡先リストに表示する連絡先の設定

連絡先リストに表示するグループを変更したり、特定のアカウントやGoogleアカウントのグループに含まれる連絡先の表示／非表示を設定できます。

1 連絡先画面で すべての連絡先 →[カスタマイズ]→表示する連絡先を設定

❖連絡先のサブメニューについて

連絡先画面で をタップして、プロフィール表示、アカウント設定、連絡先のインポート／エクスポート、グループの追加、連絡先の1件送信、連絡先の削除ができます。

◆ 連絡先をグループごとに表示

登録時に設定したグループ別に連絡先を表示できます。

1 連絡先画面で すべての連絡先 →グループを選択

❖グループの新規作成

連絡先のサブメニューから、グループの作成、グループ名の変更、グループの削除ができます。

1 連絡先画面で≡→[グループを追加]→必要に応じてアカウントを選択→グループ名を入力→[OK]

- docomoアカウントまたはGoogleアカウントにのみグループ作成が可能です。

グループ名の変更：連絡先画面で すべての連絡先 →グループを選択→≡→［グループ名を変更］→グループ名を変更→［OK］

グループの削除：連絡先画面で すべての連絡先 →グループを選択→≡→［グループを削除］→［OK］

✔お知らせ

- 「グループなし」とGoogle既定のグループでの変更／削除はできません。

◆連絡先を登録

1 連絡先画面で 新規 →必要に応じてアカウントを選択→各項目を設定→[完了]

◆連絡先の編集

1 連絡先画面で編集したい連絡先を選択→✎→変更したい項目を入力→[完了]

◆連絡先の削除

1 連絡先画面で削除したい連絡先を選択→≡→[連絡先を削除]→[OK]

- 連絡先画面で≡→［連絡先を選択削除］をタップすると、削除したい連絡先を選択して削除が可能です。［全て選択］をタップすると、全件削除できます。

◆連絡先のインポート／エクスポート

1 連絡先画面で≡→[インポート／エクスポート]→項目を選択→それぞれの操作を行う

SIMカードからインポート：ドコモminiUIMカードに保存した連絡先から追加したい連絡先を指定してインポートします。

SIMカードにエクスポート：指定した連絡先をドコモminiUIMカードにエクスポートします。エクスポートされる内容は名前／1件目の電話番号／1件目のメールアドレスのみとなり、最大50件まで保存できます。ただし、電話番号とメールアドレスの属性はエクスポートされません。また、上書きでエクスポートする場合、ドコモminiUIMカード内の連絡先を全て削除してからエクスポートされますので、ご注意ください。

SDカードからインポート：microSDカードに保存されている連絡先データ（vCardファイル）を、指定したアカウントに登録します。ファイルが複数ある場合は、登録するファイルを選択します。

SDカードにエクスポート：「プロフィール」を除く連絡先データ（vCardファイル）を、microSDカードに全件保存します。

表示可能な連絡先を全件送信：連絡先データをBluetooth通信もしくはメールに添付して全件送信します。

✔お知らせ

- 他の端末との間で連絡先データの全件受け渡しをしたい場合は、電話帳コピーツール（→P49）をご利用ください。
- スマートフォン以外の端末への全件送信には、必ず電話帳コピーツールをご利用ください。Bluetooth通信での全件送信を行うと、正常にデータが移行できません。

電話帳コピーツール

microSDカードを利用して、他の端末との間で電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された電話帳データをdocomoアカウントにコピーできます。

1 **アプリケーションメニューで[電話帳コピーツール]**

- はじめてご利用される際には、「使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

◆ 電話帳をmicroSDカードにエクスポート

1 **microSDカードを本端末に取り付ける**

2 **[エクスポート]タブ画面で[開始]**

docomoアカウントに保存されている電話帳データがmicroSDカードに保存されます。

◆ 電話帳をmicroSDカードからインポート

1 **電話帳データが保存されたmicroSDカードを本端末に取り付ける**

2 **[インポート]タブ画面でインポートしたいファイルを選択→[上書き]／[追加]**

インポートした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

◆ Googleアカウントの連絡先をdocomoアカウントにコピー

1 **[docomoアカウントへコピー]タブ画面でコピーしたいGoogleアカウントを選択→「上書き」／「追加」**

コピーした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

- 「本体」に登録した電話帳データもGoogleアカウントと同様にdocomoアカウントへのコピーが可能です。

✔お知らせ

- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、連絡先に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにエクスポートする場合は、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- 電話帳をmicroSDカードからインポートする場合は、［一括バックアップ］で作成したファイルは読み込むことができません。

プロフィールの編集

ご契約電話番号を確認できます。また、ご自身の情報を入力、編集できます。

1 **アプリケーションメニューで[連絡先]→ →[プロフィール]→ →各項目を設定→[完了]**

各種設定

設定メニュー

アプリケーションメニューで［設定］を選択して表示される設定メニューから、各種設定を行います。

初期設定：最初に設定が必要な項目を表示します。
無線とネットワーク：機内モードやWi-Fi、Bluetooth機能、テザリングなどの設定を行います。
音：バイブ、マナーモード、通知音、各種操作音、Dolby Mobile設定などを行います。
画面：フォトスクリーン、画面の明るさや自動回転、アニメーション、フォントなどの画面設定を行います。
現在地情報とセキュリティ：現在地の設定や画面ロック、パスワードなどの設定を行います。
アプリケーション：アプリケーションに関する設定を行います。
アカウントと同期：アカウントや同期に関する設定を行います。
バックアップと復元：データのバックアップや復元、初期化を行います。
ストレージ：空き容量表示や外部ストレージのデータ消去などを行います。
言語と入力：使用言語や音声認識装置の設定、テキスト読み上げの設定、キーボードの設定などを行います。
ユーザー補助：ユーザー補助サービスの有効／無効を設定したり、タップするときに長押しと認識されるまでの時間を設定したりします。
日付と時刻：日付や時刻に関する設定を行います。
端末情報：本端末の各種情報を表示します。

✔お知らせ

- 初期設定については「初期設定」（→P27）を、現在地情報については「位置情報サービスの設定」（→P87）を、セキュリティについては「ロック／セキュリティ」（→P42）をご覧ください。

無線とネットワーク

- Bluetooth機能については「Bluetooth通信」（→P76）をご覧ください。

◆アクセスポイント（APN）の設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）はあらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

- お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。
- テザリングがオンのときは、アクセスポイントの設定はできません。テザリングをオフにしてください。→P54

❖利用中のアクセスポイントの確認

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]**

❖アクセスポイントの追加（新しいAPN）

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]**

2 **▤→[新しいAPN]**

3 **[名前]→ネットワークプロファイル名を入力→[OK]**

4 **[APN]→アクセスポイント名を入力→[OK]**

5 **その他、通信事業者によって要求されている項目を入力→**

✔**お知らせ**

- MCC、MNCの設定を変更してアクセスポイント名画面に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、［新しいAPN］で再度アクセスポイントの設定を行ってください。

❖アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 **アプリケーションメニューで［設定］→［無線とネットワーク］→［モバイルネットワーク］→［アクセスポイント名］**

2 **→［初期設定にリセット］**

❖spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。

- spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

❖mopera Uの設定

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます

- mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

1 **アプリケーションメニューで［設定］→［無線とネットワーク］→［モバイルネットワーク］→［アクセスポイント名］**

2 **［mopera U］／［mopera U設定］を選択**

✔**お知らせ**

- ［mopera U設定］は、mopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
- ［mopera U］をご利用の場合、mopera Uのご契約が必要です。mopera Uの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

◆機内モードの設定

機内モードを設定すると、本端末のワイヤレス機能（パケット通信、Wi-Fi、テザリング、Bluetooth機能）が無効になります。

1 **アプリケーションメニューで［設定］→［無線とネットワーク］**

2 **［機内モード］にチェック**

◆ Wi-Fi機能

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスの無線LANアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。
無線LANアクセスポイントに接続するには、接続情報を設定する必要があります。

■ Bluetooth機能との電波干渉について

無線LAN（IEEE 802.11b/g/n）とBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、本端末の無線LAN機能とBluetooth機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。
また、本端末の無線LAN機能のみ使用している場合でも、Bluetooth機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、次の対策を行ってください。

- 本端末とBluetooth機器は10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth機器の電源を切ってください。

■ 利用できるチャンネル

日本国内では1〜13チャンネル、国外では1〜11チャンネルの周波数帯を利用できます。

❖ Wi-Fiをオンにしてネットワークに接続

1 アプリケーションメニューで[設定]→[無線とネットワーク]

2 [Wi-Fi]にチェック

Wi-Fiがオンになり、利用可能なWi-Fiネットワークがスキャンされます。

3 [Wi-Fi設定]

検出されたWi-Fiネットワークのネットワーク名とセキュリティ設定（オープンネットワークまたはセキュリティで保護）がWi-Fiネットワークリストに表示されます。

4 Wi-Fiネットワークを選択→[接続]

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード（セキュリティキー）を入力し、［接続］をタップします。

✔お知らせ

- Wi-Fi機能がオンのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的にLTE／3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。

❖ オープンネットワークの通知

Wi-Fiのオープンネットワークが検出された場合に通知するように設定します。

- あらかじめWi-Fiをオンにしてください。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]

2 [ネットワークの通知]にチェック

❖Wi-Fiネットワークのスキャン

- あらかじめWi-Fiをオンにしてください。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]**

2 **→[スキャン]**

Wi-Fiネットワークのスキャンが開始され、検出されたWi-Fiネットワークが Wi-Fiネットワークリストに表示されます。

❖Wi-Fiネットワークの簡単登録

AOSS™またはWPSに対応した無線LANアクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。

- あらかじめWi-Fiをオンにしてください。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]→[Wi-Fi簡単登録]**

2 **登録方式を選択**

AOSS™方式：[AOSS方式]→[はい]→アクセスポイント側でAOSS™ボタンを押す→[OK]

WPS方式：[WPS方式]→[プッシュボタン方式]／[PIN入力方式]→[はい]→アクセスポイント側で操作

- プッシュボタン方式の場合は、アクセスポイント側で専用ボタンを押します。PIN入力方式の場合は、本端末に表示されたPINコードをアクセスポイント側で入力後、［OK］をタップします。

✔お知らせ

- 無線LANアクセスポイントによっては、AOSS™方式での接続ができない場合があります。接続できない場合はWPS方式または手動で接続してください。

❖Wi-Fiネットワークの追加

ネットワークSSIDやセキュリティを入力して、手動でWi-Fiネットワークを追加します。

- あらかじめWi-Fiをオンにしてください。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]**

2 **[Wi-Fiネットワークを追加]**

3 **追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択**

- セキュリティは［なし］［WEP］［WPA/WPA2 PSK］［802.1x EAP］が設定可能です。

4 **必要に応じて追加のセキュリティ情報を入力→[保存]**

❖静的IPアドレスを利用して接続

静的IPアドレスを入力して、Wi-Fiネットワークに接続することもできます。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]**

2 **設定するWi-Fiネットワーク名を選択**

3 **[IP設定]→[静的]**

4 **[IPアドレス]およびその他の入力項目を選択→必要な情報を入力**

- 静的IPアドレスを有効にするには、［IPアドレス］、［ゲートウェイ］、［ネットワークプレフィックス長］、［DNS 1］のすべてに入力が必要です。

❖Wi-Fiネットワークの切断

1 アプリケーションメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]

2 接続しているWi-Fiネットワークを選択→[切断]

✔お知らせ

- Wi-Fiをオフにしてwi-Fiネットワークを切断した場合、次回Wi-Fiオン時に接続可能なWi-Fiネットワークがあるときは、自動的に接続されます。

❖Wi-Fiの切断ポリシー

本端末の画面がオフになったときや、充電中のWi-Fi機能の動作を設定します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]

2 [Wi-Fiの切断ポリシー]

3 [画面がOFFになったとき(モバイルデータ使用量が多くなります)]/[電源接続時はスリープにしない]/[切断しない(電池使用量が多くなります)]

❖MACアドレス/IPアドレスの確認

1 アプリケーションメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[Wi-Fi設定]

2 ▤→[詳細設定]

◆テザリング

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使用することにより、USBケーブルやWi-Fiで接続した外部接続機器を、インターネットに接続できるようにする機能です。

- テザリングを有効にした状態では、インターネット接続・メールサービス以外のspモードの機能をご利用になれません。
- テザリングを利用してインターネットに接続した場合、ご利用の環境によってはWi-Fi対応機器のブラウザやゲームなどのアプリケーションが正常に動作しない場合があります。

✔お知らせ

- アプリケーションメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[テザリング]→[ヘルプ]で、テザリングについての情報を見ることができます。

◆USBテザリング

本端末を付属のPC接続用USBケーブル T01でパソコンと接続し、モデムとして利用することでインターネットに接続できます。

1 本端末とパソコンをUSBケーブルで接続

2 アプリケーションメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[テザリング]

3 [USBテザリング]にチェック

4 注意事項の内容を確認して[OK]

✔**お知らせ**

- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境は次のとおりです。なお、OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
  - Windows XP（Service Pack 3以降）、Windows Vista、Windows 7
- Windows XPパソコンでUSBテザリングを行うには、パソコン側に専用ドライバをインストールする必要があります。専用ドライバのダウンロードについては、次のサイトをご覧ください。
  http://www.fmworld.net/product/phone/usb/
- Windows XPパソコンでUSBテザリングを無効にするには、本端末側でUSBテザリングをOFFにせずに、パソコンからUSBケーブルを取り外してください。

◆ Wi-Fiテザリング

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器をインターネットに接続できます。

- Wi-Fi対応機器を8台まで同時接続できます。
- 日本国内では1～13チャンネル、国外では1～11チャンネルの周波数帯を利用できます。

❖Wi-Fiテザリングの設定

Wi-Fiテザリングをオンにして、接続の設定を行います。

1 **アプリケーションメニューで［設定］→［無線とネットワーク］→［テザリング］**

2 **［Wi-Fiテザリング］にチェック**

- チェックを外すと、Wi-Fiテザリングがオフになります。

3 **注意事項の内容を確認して［OK］**

4 **［ネットワークSSID］→ネットワークSSIDを入力**

- お買い上げ時には、「F-01D_AP」が設定されています。
- 登録済みの設定を変更する場合は、［Wi-Fiテザリングを設定］を選択すると設定画面が表示されます。

5 **［セキュリティ］→セキュリティを選択**

- セキュリティは［Open］［WEP64］［WEP128］［WPA PSK TKIP］［WPA PSK AES］［WPA2 PSK TKIP］［WPA2 PSK AES］［WPA/WPA2 PSK］が設定可能です。

6 **［パスワード］→パスワードを入力→［保存］**

❖Wi-Fi対応機器の簡単登録

AOSS™またはWPSに対応したWi-Fi対応機器を登録します。

- あらかじめWi-Fiテザリングをオンにしてください。

1 **アプリケーションメニューで［設定］→［無線とネットワーク］→［テザリング］→［Wi-Fi簡単登録］**

2 **登録方式を選択**

AOSS™方式：［AOSS方式］→［はい］→Wi-Fi対応機器側でAOSS™ボタンを押す→［OK］
WPS方式：［WPS方式］→［プッシュボタン方式］／［PIN入力方式］→各種操作→登録画面で［OK］

- プッシュボタン方式の場合は、［OK］をタップ後Wi-Fi対応機器側で専用ボタンを押します。PIN入力方式の場合は、Wi-Fi対応機器に表示されたPINコードを入力後、［OK］をタップします。

✔**お知らせ**

- AOSS™登録機器数が最大件数の24件を超えると、古い登録データの削除確認画面が表示されます。新たな機器でAOSS™接続を利用する場合は［はい］をタップしてください。
- AOSS™設定を解除するには、［Wi-Fiテザリングを設定］画面で［AOSS解除］をタップします。
- Wi-Fi対応機器によっては、AOSS™方式での接続ができない場合があります。接続できない場合はWPS方式または手動で接続してください。

◆ VPN（仮想プライベートネットワーク）への接続

VPN（Virtual Private Network：仮想プライベートネットワーク）は、企業や大学などの保護されたローカルネットワーク内の情報に、外部からアクセスする技術です。本端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。

- ISPをspモードに設定している場合は、PPTPはご利用いただけません。

❖VPNの追加

1 アプリケーションメニューで［設定］→［無線とネットワーク］→［VPN設定］

2 ［VPNの追加］→追加するVPNの種類を選択

3 VPN設定の各項目を設定

- 設定内容については、ネットワーク管理者の指示に従ってください。

4 ▤→［保存］

VPN設定画面のリストに新たなVPNが追加されます。

❖VPNへの接続

1 アプリケーションメニューで［設定］→［無線とネットワーク］→［VPN設定］

VPN設定画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNを選択

3 必要な認証情報を入力→［接続］

VPNに接続すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。

❖VPNの切断

1 通知パネルを開く

2 VPN接続中を示す通知を選択

- VPNが切断されると、ステータスバーの通知アイコンがグレーになります。通知パネルを開いて通知を選択すると、再接続できます。

◆ パケット接続の停止

- アプリケーションによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信はVPNを切断するかタイムアウトにならないかぎり、接続されたままになります。

1 アプリケーションメニューで［設定］→［無線とネットワーク］→［モバイルネットワーク］

2 ［データ通信を有効にする］のチェックを外す

✔**お知らせ**

- ウィジェットの［データ通信］をホーム画面に貼り付けておくと、パケット通信のオン／オフを簡単に切り替えることができます。→P30

音設定

◆ マナーモードの設定

メールの通知音、アラーム音、メディア再生音など本端末から鳴る音を消します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[音]→[マナーモード]

2 [マナーモードを有効]にチェック

ステータスバーにアイコンが表示されます。アイコンはマナーモードの種類によって異なります。各アイコンについては「ステータスバーのアイコン」をご覧ください。→P28

✔お知らせ

- マナーモード設定中でも、シャッター音は鳴ります。

❖マナーモードの種類を変更

1 アプリケーションメニューで[設定]→[音]→[マナーモード]→[マナーモード選択]

2 項目を選択

マナーモード：本端末から音を鳴らしません。

マナー（サイレント）：音を鳴らさないだけでなく、バイブレーションもオフになります。

マナー（アラーム）：本端末からアラーム音のみを鳴らします。バイブレーションは、各アプリで「常に使用」と設定された場合を除きオフになります。

オリジナルマナー：音の種類ごとに音量とバイブレーションを設定できます。オリジナルマナーの設定内容は、各アプリでの音量・バイブレーション設定よりも優先されます。

❖オリジナルマナーを設定

1 アプリケーションメニューで[設定]→[音]→[マナーモード]→[オリジナルマナー設定]

2 [音量]

3 [メディア再生音量]／[アラーム音量]／[通知音量]

4 スライダーをスライドして音量を調節→[OK]→

5 [バイブレーション]

6 [アラーム]／[通知]にチェック／チェックを外す

◆ 音量調節

メディア再生音、アラーム、通知の音量を調節できます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[音]→[音量]

2 スライダーをスライドして音量を調節→[OK]

◆ 入力マイクの設定

本端末のステレオイヤホン端子に市販のステレオイヤホンを接続しているときの、音声入力先を設定します。

- ステレオイヤホン接続時にも設定できます。→P83

1 アプリケーションメニューで[設定]→[音]→[入力マイクの設定]

2 [端末のマイク]／[イヤホンマイク]

- マイクなしのステレオイヤホンを接続している場合は［端末のマイク］を選択してください。

◆ 通知音／操作音／バイブレーションの設定

1 アプリケーションメニューで[設定]→[音]

2 各項目を設定

通知音：通知音として使用する音を設定します。
選択時の操作音：メニュー選択時の操作音のオン／オフを切り替えます。
画面ロックの音：画面ロック設定時および解除時の通知音のオン／オフを切り替えます。
入力時バイブレーション：ソフトキー操作など特定の操作でのバイブレーションのオン／オフを切り替えます。

◆ Dolby Mobile設定

動画や音楽を再生するときのDolby機能の設定をします。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[音]→[Dolby Mobile設定]

2 [動画ジャンル設定で使用]／[音楽ジャンル設定で使用]

3 [動画ジャンル設定]／[音楽ジャンル設定]でジャンルを設定

ステータスバーに が表示されます。アイコンは設定するジャンルにより異なります。

✔お知らせ

- ［エフェクト自動設定］は、お買い上げ時、［音楽］のみで動作します。

画面設定

◆ ロック画面の背景画像設定

1 アプリケーションメニューで[設定]→[画面]→[フォトスクリーン]

2 [画像設定]→各項目を設定

設定しない：ホーム画面の壁紙を表示します。
フォルダ：選択したフォルダの画像をスライドショー表示します。
Flickr：Flickrからキーワードに一致する画像を自動取得して、スライドショー表示します。
Picasa：Picasaからキーワードに一致する画像を自動取得して、スライドショー表示します。

- ［Flickr］／［Picasa］を選択した場合は検索タグを入力し、［更新間隔］と［利用するネットワーク］を設定します。
- ［更新間隔］で［指定時刻］を選択した場合は、［更新時刻の指定］をタップして時刻を指定します。

✔お知らせ

- ［更新時刻の指定］で設定した時間は、画像の自動取得を開始する時間です。取得した画像が表示される時間ではありません。

◆ 画面表示の変更

❖画面の明るさ設定

画面の明るさを設定します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[画面]→[画面の明るさ]

- 周囲の状況に応じて明るさを自動調整する場合は、[明るさを自動調整]にチェックを付け、[OK]をタップします。

2 スライダーをスライドして明るさを調節→[OK]

❖画面の自動回転

1 アプリケーションメニューで[設定]→[画面]

2 [画面の自動回転]にチェック／チェックを外す

✔**お知らせ**

- カメラやビデオ録画など一部のアプリケーションは本設定に従いません。

❖アニメーション表示を設定

画面や項目を表示するときに、アニメーション表示するかどうかを設定します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[画面]→[アニメーション表示]

2 [アニメーションなし]／[一部のアニメーション]／[すべてのアニメーション]

❖画面の表示フォント設定

画面の表示フォントを変更します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[画面]→[フォント設定]

2 フォントを選択→[OK]

❖タイムアウト

スリープモードになるまでの時間を設定します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[画面]→ [タイムアウト]→時間を選択

アプリケーション

◆ 提供元不明のアプリケーションのインストールを許可

Androidマーケット以外のサイトやメールなどから入手したアプリケーションのインストールを許可します。

- 本端末と個人データを保護するため、Androidマーケットなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[アプリケーション]→[提供元不明のアプリ]にチェック→注意文を確認後に[OK]

❖ダウンロードしたファイルの表示

Webサイトからダウンロードしたファイル（アプリケーション、画像、ドキュメントなど）の一覧を表示します。

1 アプリケーションメニューで[ブラウザ]→▤→[ダウンロード履歴]

✔お知らせ

- Androidマーケットからダウンロードしたアプリケーションは表示されません。

◆ 本端末のアプリケーションに許可されている動作の表示

1 アプリケーションメニューで[設定]→[アプリケーション]→[アプリケーションの管理]

- [サイズ順]／[名前順]をタップして、アプリケーションを並べ替えることができます。

2 アプリケーションを選択

- すべての許可されている動作が表示されていない場合は、[すべて]をタップします。

◆ アプリケーションのデータやキャッシュの消去

1 アプリケーションメニューで[設定]→[アプリケーション]→[アプリケーションの管理]

- [サイズ順]／[名前順]をタップして、アプリケーションを並べ替えることができます。

2 アプリケーションを選択→[データを消去]／[キャッシュを消去]

- [データを消去]の場合は[OK]をタップします。

◆ アプリケーションの削除

- Androidマーケットから入手したアプリケーションは、Androidマーケット画面から削除することをおすすめします。→P85
- お買い上げ時にインストールされているアプリケーションによっては削除できません。また、削除した場合は本端末をリセットすると復元することができます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[アプリケーション]→[アプリケーションの管理]

- [サイズ順]／[名前順]をタップして、アプリケーションを並べ替えることができます。

2 アプリケーションを選択→[アンインストール]→[OK]→[OK]

◆ 実行中のサービスの表示

1 アプリケーションメニューで[設定]→[アプリケーション]→[実行中のサービス]→サービス名を選択→目的の操作を行う

◆ ストレージ使用状況の確認

1 アプリケーションメニューで[設定]→[アプリケーション]→[ストレージ使用状況]

- [サイズ順]／[名前順]をタップして、アプリケーションを並べ替えることができます。

◆ アプリケーションの開発機能を利用

1 アプリケーションメニューで[設定]→[アプリケーション]→[開発]

- USBデバッグ機能を利用するためには、パソコン側にUSBドライバをインストールする必要があります。詳細については、次のサイトの本製品に関する情報をご覧ください。
  http://www.fmworld.net/product/phone/sp/android/develop/
- USBデバッグや擬似ロケーションなどのソフトウェア開発者用機能については、次のホームページをご覧ください。
  http://developer.android.com/

❖充電中にバックライトを消灯しないように設定

1 アプリケーションメニューで[設定]→[アプリケーション]→[開発]→[スリープモードにしない]にチェック

アカウントと同期

◆ アカウントの追加

1 アプリケーションメニューで[設定]→[アカウントと同期]

2 [アカウントを追加]→アカウントの種類を選択→各項目を設定

アカウントを設定：アカウントを選択→各項目を設定

✔お知らせ

- 本端末に複数のGoogleアカウントを追加することができます。
- Picasaウェブアルバムへのログイン用に設定しているGoogleアカウントを、本端末のGoogleアカウントとして登録してください。本端末にGoogleアカウントを登録したあとに、そのGoogleアカウントを入力してPicasaウェブアルバムのアカウントを新規に取得しても、本端末のGoogleアカウントの同期項目にPicasaは表示されません。

◆ アカウントの削除

1 アプリケーションメニューで[設定]→[アカウントと同期]→アカウントを選択→[アカウントを削除]→[アカウントを削除]

✔お知らせ

- 最初に設定したGoogleアカウントは、本操作では削除できません。最初に設定したGoogleアカウントを削除するには、本端末をリセットします。→P62
- docomoアカウントは削除できません。

◆ 自動同期するGoogleアプリケーションの設定

本端末とGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailなどの自動同期を設定します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[アカウントと同期]→[バックグラウンドデータ]にチェック→[自動同期]にチェック→アカウントを管理リストでGoogleアカウントを選択→各項目を設定

✔お知らせ

- ［バックグラウンドデータ］にチェックを付けると、本端末にインストールされているすべてのアプリケーションが自動的にデータ通信を行うことを許可します。さらに［自動同期］にチェックを付けると、アプリケーションがデータを自動同期することを許可します。

◆ 手動で同期を開始

1 アプリケーションメニューで[設定]→[アカウントと同期]→アカウントを選択→

❖同期の中止

1 同期中に

バックアップと復元

◆ データのバックアップと自動復元

Googleのサーバーを利用して、データのバックアップ／復元を行います。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[バックアップと復元]

2 [データのバックアップ]／[自動復元]

データのバックアップ：アプリケーションデータや各種設定を保存します。

- 画像や音楽などは保存できません。

自動復元：アプリケーションの再インストール時にバックアップデータを復元します。

◆ 本端末の初期化

内蔵ストレージの全データ（電子辞書を除く）が消去されます。本端末にお客様がインストールしたアプリケーションや登録したデータはすべて削除されます。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[バックアップと復元]→[データの初期化]→[内蔵ストレージ内のデータを消去]にチェック→[携帯端末をリセット]

- 画面ロックを設定している場合は、画面ロック解除パターンまたは暗証番号／パスワードを入力します。

2 [すべて消去]

リセットが完了して少したつと、本端末が再起動します。

✔お知らせ

- タッチパネル操作が正しく動作しない場合などには、電源を入れ直してください。

ストレージ

◆ メモリ空き容量の確認

本端末、microSDカード、USB接続した大記憶容量装置（USBマスストレージ）の空き容量を確認します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[ストレージ]

◆ microSDカードのデータ消去

- 操作を行うと、microSDカード内のデータがすべて消去されますのでご注意ください。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[ストレージ]→[SDカードのマウント解除]

- SDカードのマウント解除についての注意が表示された場合は［OK］をタップします。

2 [SDカード内データを消去]→[SDカード内データを消去]

- 画面ロックを設定している場合は、ロック解除パターン／暗証番号／パスワードを入力します。

3 [すべて消去]

本端末内やWebサイトの検索

本端末内の機能やWebサイトを検索します。音声で検索することもできます。

〈例〉キーワードを入力して検索する

1 ホーム画面で[Google]

2 キーワードを入力

文字の入力に従って検索候補が表示されます。

音声検索：[マイク]→マイクに向かってキーワードを発声

- ホーム画面（→P30）やアプリケーション（→P31）からも音声検索を利用できます。

3 検索候補を選択

◆ 検索設定

検索機能の設定を行います。

1 ホーム画面で[Google]→[メニュー]→[検索設定]→各項目を設定

検索対象：検索対象とする本端末内の機能を指定します。

Google検索：ショートカットを消去したり、Googleとの共有などを設定します。

ウルトラ統合検索

キーワードを入力し、ショッピングやグルメなどの検索サイト内をダイレクトに検索します。

1 アプリケーションメニューで[ウルトラ統合検索]

- 初回起動時は「ご利用にあたって」の確認画面が表示されます。確認後［はい］をタップしてください。

2 キーワードを入力→検索サイトを選択

✔お知らせ

- ウルトラ統合検索サイトの情報が更新されたときは、ステータスバーに[アイコン]が表示されます。

◆ 検索サイトの管理

1 アプリケーションメニューで[ウルトラ統合検索]

2 目的の操作を行う

標準検索サイトの設定：検索サイトを選択（1秒以上）→検索サイト一覧の最上位へドラッグ

検索サイトの追加：[+]→検索サイトにチェック→[OK]

言語と入力

- ATOKについては「ATOKの設定」をご覧ください。→P38

◆ 英語表示に切り替え

利用する言語を英語に変更します。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[言語と入力]→[Select locale]→[English]**

✔**お知らせ**

- アプリケーションによっては英語表示されません。
- 日本語表示に戻す場合は次の操作を行います。
  アプリケーションメニューで［Settings］→［Language & input］→［言語を選択］→［日本語］

◆ 単語リストを登録

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[言語と入力]→[単語リスト]**

2 **＋→単語を入力→[OK]**

◆ 音声入出力

❖ 音声認識装置の設定

Google音声検索の機能を設定します。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[言語と入力]→[音声認識装置の設定]→各項目を設定**

言語：Google音声検索時に入力する言語を設定します。

セーフサーチ：画像やテキストのアダルトフィルタを設定します。

不適切な語句をブロック：不適切な結果を表示するかどうかを設定します。

❖ テキスト読み上げの設定

テキスト読み上げプラグインの読み上げ速度や読み上げ言語を設定します。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[言語と入力]→[テキスト読み上げの設定]**

2 **各項目を設定**

音声の速度：読み上げ速度を設定します。

言語：読み上げに使用する言語固有の音声を設定します。

- ［サンプルを再生］をタップするとサンプル音声を再生します。
- 設定をテキスト読み上げに対応したアプリケーションや機能で常に有効にするには、［常に自分の設定を使用］にチェックを付けます。

◆ キーボードの設定

❖入力方法選択オプション

文字入力時に入力方法選択オプション⌨を表示するかどうかを設定します。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[言語と入力]→[入力方法選択オプション]**

2 **項目を選択**

自動：入力方法（キーボード）が複数ある場合に表示
常に表示：入力方法（キーボード）の数に関係なく表示
常に非表示：入力方法（キーボード）の数に関係なく非表示

❖Androidキーボードの設定

Androidキーボードのキー操作音やテキストの修正候補表示などを設定します。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[言語と入力]→[入力方法の設定]→「Androidキーボード」欄の[設定]→各項目を設定**

ユーザー補助

ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助アプリケーションを有効にします。

- お買い上げ時はユーザー補助アプリケーションが登録されていません。ユーザー補助を設定するには、あらかじめAndroidマーケットからユーザー補助アプリケーション（SoundBack、KickBack、TalkBackなど）を入手し、インストールすることで設定できます。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[ユーザー補助]→各項目を設定**

ユーザー補助：[ユーザー補助]でユーザー補助に対応したアプリケーションの有効／無効を設定します。
ユーザー補助サービス：本端末で入力する全テキストの収集をダウンロードしたアプリケーション（TalkBackなど）に許可する／しないを設定します。
ユーザー補助スクリプト：[ユーザー補助スクリプトをダウンロードする]でユーザー補助スクリプトをGoogleからダウンロードすることをアプリケーションに許可する／しないを設定します。
タッチスクリーンジェスチャー：[長押しの時間]で長押しと判断されるまでの時間を設定します。

日付と時刻

日付と時刻、日付時刻の表示に関する設定を行います。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[日付と時刻]→各項目を設定**

- [日付と時刻の自動設定][タイムゾーンを自動設定]のチェックを外すと、日付と時刻、タイムゾーンを手動で設定できます。

端末情報

本端末に関する各種情報を表示します。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[端末情報]→各項目を確認**

ソフトウェア更新：ソフトウェアを最新の状態にします。→P105

プロフィール情報：プロフィール情報の設定、確認をします。

端末の状態：電池残量、電話番号、各種ネットワーク名やアドレス、IMEI（個別のシリアルナンバー）などを確認します。

電池使用量：電池の使用状況を確認します。

法的情報／認証：利用規約や認証ロゴを確認します。

モデル番号／Androidバージョン／ベースバンドバージョン／カーネルバージョン／ビルド番号：各バージョンや番号を確認します。

メール／インターネット

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信をします。
絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。

- spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 アプリケーションメニューで[spモードメール]

以降は画面の指示に従って操作します。

SMS

携帯電話番号を宛先にして、最大全角70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）の文字メッセージを送受信します。

◆ SMSを作成して送信

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]→[新規作成]

2 [To]→携帯電話番号を入力

3 [メッセージを入力]→メッセージを入力→[送信]

✔お知らせ

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください。）携帯電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。
- アプリケーションメニューで［メッセージ］→≡→［設定］→［受取確認通知］にチェックを付けると、SMSの受取確認通知を設定できます。

◆ SMSを受信したときは

SMSを受信すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。通知パネルを開いて通知をタップして、新着SMSを確認します。

✔お知らせ

- 本端末からSMSセンターにSMSがあるかどうかを問い合わせることはできません。
- 本端末の初期化をした際、再起動直後にSMSを受信すると、新着SMS通知の設定に関わらず着信音やバイブレータが鳴動しない場合があります。
- 本端末のメモリ容量が少なくなると、SMSを受信できません。不要なアプリケーションを削除するなどして、メモリ空き容量を増やしてください。→P60、85

◆ 送受信したSMSの表示

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択

◆ SMSに返信

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→[メッセージを入力]→メッセージを入力→[送信]

◆ SMSを転送

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→SMSを選択(1秒以上)→[転送]

3 [To]→携帯電話番号を入力→[送信]

◆ SMSを削除

〈例〉SMSを1件削除する

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]

2 メッセージスレッドを選択→SMSを選択(1秒以上)→[メッセージを削除]

メッセージスレッドの削除：メッセージスレッドを選択（1秒以上）→［スレッドを削除］
すべてのメッセージスレッドの削除：▤→［すべてのスレッドを削除］

3 [削除]

◆ SMSの自動削除の設定

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]→▤→[設定]

2 [古いメッセージを削除]にチェック→[テキストメッセージの制限件数]

3 テキストメッセージの制限件数を入力→[設定]

✔お知らせ

- 次の操作で削除したくないSMSを保護します。
  アプリケーションメニューで［メッセージ］→メッセージスレッドを選択→SMSを選択（1秒以上）→［メッセージをロック］

◆ SMSをドコモminiUIMカードからコピー

他の端末でドコモminiUIMカードに保存したSMSを本端末にコピーします。

- 本端末のSMSをドコモminiUIMカードにコピーすることはできません。

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]→▤→[設定]→[SIMカードのメッセージ]

2 SMSを選択(1秒以上)→[端末のメモリにコピー]

- SMSを選択（1秒以上）→［削除］→［OK］をタップするとSMSを削除できます。

✔お知らせ

- ドコモminiUIMカードのSMSから返信や転送などを行う場合は、本端末にコピーしてから行ってください。

◆ 新着SMS通知の設定

1 アプリケーションメニューで[メッセージ]→▤→[設定]

2 各項目を設定

通知：新着SMSがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。

着信音を選択：新着SMSをお知らせする着信音を設定します。

バイブレーション：新着SMSを振動でお知らせするかどうかを設定します。

Eメール

mopera Uや一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用します。

◆ mopera Uのメールアカウントの設定

mopera Uのアカウントを設定して、mopera Uメールを利用します。

- mopera Uメールのメールボックス容量は約50MBです。1メール当たり最大約5MBまでの添付ファイルを送受信できます。

■ POPサーバーを利用する場合

1 アプリケーションメニューで[メール]

2 [メールアドレス]→mopera Uのメールアドレスを入力→[パスワード]→mopera Uのパスワードを入力→[手動セットアップ]→[POP3]

3 [ユーザー名]→mopera UのユーザIDを入力→[パスワード]→mopera Uのパスワードを入力→[POP3サーバー]→「mail.mopera.net」を入力

4 [セキュリティの種類]→セキュリティを選択

5 入力内容を確認→[次へ]

6 [SMTPサーバー]→「mail.mopera.net」を入力→mopera UのユーザIDとパスワードの入力内容を確認→[次へ]

7 オプションの設定画面で[受信トレイを確認する頻度]などを設定→[次へ]

8 メールアカウントの登録画面で[あなたの名前]→名前を入力→[次へ]

◆ 一般プロバイダのメールアカウントの設定

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 アプリケーションメニューで[メール]

2 [メールアドレス]→メールアドレスを入力→[パスワード]→パスワードを入力→[次へ]

以降は画面の指示に従って操作します。

✔お知らせ

- メールアカウントの自動設定が完了しない場合、操作2で［手動セットアップ］をタップしてアカウント設定を手動で入力します。
- サービスプロバイダによっては、「OP25B（Outbound Port 25Blocking）：迷惑メール送信規制」の設定が必要になります。詳しくは、ご契約のサービスプロバイダへお問い合わせください。
- すでにメールアカウントが設定済みで、さらに別のメールアカウントを追加する場合は、メール一覧画面で▤→［アカウントの設定］→［アカウントを追加］をタップします。

◆ メールアカウントごとの受信設定

❖新着Eメールの自動確認の設定

1 アプリケーションメニューで［メール］

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面左上のアカウントをタップして切り替えます。

2 ▤→［アカウントの設定］→［受信トレイの確認頻度］→確認頻度を選択

✔お知らせ

- 一定の間隔でメールサーバーに接続するように設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着メールを確認するたびに料金がかかります。

❖新着Eメール通知の設定

1 アプリケーションメニューで［メール］

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面左上のアカウントをタップして切り替えます。

2 ▤→［アカウントの設定］

3 各項目を設定

メール着信通知：新着Eメールがあることをステータスバーの通知アイコンでお知らせするかどうかを設定します。

着信音を選択：新着Eメールをお知らせする着信音を設定します。

バイブレーション：新着Eメールを振動でお知らせするかどうかを設定します。

◆ Eメールを作成して送信

1 アプリケーションメニューで［メール］

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面左上のアカウントをタップして切り替えます。

2 ✉+

3 ［To］→アドレスを入力

- CcやBccを追加する場合は、［Cc／Bccを追加］をタップします。

4 ［件名］→件名を入力

5 ［メッセージを作成］→メッセージを入力

- ファイルを添付する場合は、📎→ファイルを選択します。

6 ［送信］

✔お知らせ

- Eメールはパソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側でパソコンからの受信拒否の設定をしていると、Eメールを送信できません。

◆ Eメールの受信／表示

1 アプリケーションメニューで[メール]

- 複数のメールアカウントがある場合は、画面左上のアカウントをタップして切り替えます。
- アカウントをタップして［統合ビュー］をタップすると、すべてのメールアカウントのEメールが混在した受信トレイが表示されます。各メールアカウントはEメールの右側にあるカラーバーで区別されます。

2 受信トレイを更新するには、

3 Eメールを選択

✔お知らせ

- アカウントの設定で受信トレイの確認頻度（→P70）とメール着信通知（→P70）を設定していると、通知アイコンがステータスバーに表示されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、受信トレイが表示されます。

◆ Eメールに返信

1 Eメールを表示→ ／ →[メッセージを作成]→メッセージを入力→[送信]

◆ Eメールを転送

1 Eメールを表示→ →[To]→メールアドレスを入力→[送信]

◆ Eメールを削除

1 Eメール一覧を表示→メールをチェック→

Gmail

Gmailは、GoogleのオンラインEメールサービスです。本端末のGmailを使用して、Eメールの送受信が行えます。

- Gmailを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回Gmail起動時に画面の指示に従って設定してください。

◆ Gmailを開く

1 アプリケーションメニューで[Gmail]

受信トレイにメッセージスレッドの一覧が表示されます。

❖Gmailの更新

1 受信トレイで

本端末のGmailとWebサイトのGmailを同期させて、受信トレイを更新します。

- Gmailの詳細については、次の操作でモバイルヘルプをご覧ください。
  Gmailの受信トレイで →［ヘルプ］

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、国際ローミング中、PINコード入力画面表示中などは受信できません。また、本端末のメモリ容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

◆ 緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴りステータスバーに通知アイコンが表示され、内容表示画面が表示されます。

- ブザー音または着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- お買い上げ時は、マナーモード中でも鳴動します。鳴動しないように設定できます。→P72

◆ 受信したエリアメールの表示

1 アプリケーションメニューで[エリアメール]→エリアメールを選択

◆ 緊急速報「エリアメール」設定

1 アプリケーションメニューで[エリアメール]→▦→[設定]

2 各項目を設定

受信設定：エリアメールを受信するかどうかを設定します。

着信音：エリアメールの鳴動時間とマナーモード時に鳴動するかどうかを設定します。

受信画面および着信音確認：エリアメールの受信動作を確認します。

その他の設定：緊急速報以外のエリアメールの受信登録／削除の設定をします。

Googleトーク

Googleトークは、Googleのオンラインインスタントメッセージサービスです。本端末のGoogleトークを使用して、メンバーとチャットを楽しむことができます。

- Googleトークを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回Googleトーク起動時に画面の指示に従って設定してください。

◆ オンラインチャット

❖ Googleトークの起動

1 アプリケーションメニューで[トーク]→[ログイン]

友だちリストが表示されます。

- Googleトークの詳細については、次の操作でモバイルヘルプをご覧ください。
  Googleトークの友だちリストで≡→［ヘルプ］

ブラウザ

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebサイトを閲覧できます。
本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でブラウザを利用できます。

◆ Webサイト表示中の画面操作

■ Webページを縦表示／横表示に切り替え

本端末を縦または横に持ち替えて、縦／横画面表示を切り替えます。

■ Webページの拡大／縮小

次の方法で拡大／縮小します。
ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。
ダブルタップ：拡大します。
- 拡大前の表示に戻す場合は、再度ダブルタップします。

■ 画面のスクロール／パン

画面を上下／左右にスクロールまたは全方向にパンして見たい部分を表示します。

◆ ブラウザを起動してWebサイトを表示

1 アプリケーションメニューで[ブラウザ]

2 アドレスバーにURL／キーワードを入力

3 ▶／Webサイトを選択

◆ 新しいタブを開く

- 最大16つのタブを開くことができます。

1 Webサイトを表示
- Webサイトの表示方法→P73

2 ≡→[新しいタブ]／[新しいシークレットタブ]

切り替え：タブを選択
閉じる：タブを選択→×

✔お知らせ
- Webサイト表示中に＋をタップしても新しいタブを開けます。

◆ 履歴からWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に◷→[履歴]

2 履歴の種別を選択
- よく閲覧するWebサイトの履歴を表示する場合は、［よく使用］をタップします。

3 Webサイトの履歴を選択

◆ ブックマークを登録してすばやく表示

❖ブックマークの登録

1 Webサイト表示中に[icon]

ブックマーク一覧が表示されます。

- [icon]→［リスト］／［サムネイル］で、リスト表示とサムネイル表示を切り替えられます。

2 ［現在のページをブックマーク］

3 ［OK］

❖ブックマークからWebサイトを表示

1 Webサイト表示中に[icon]

2 ブックマークを選択

編集：ブックマークを選択（1秒以上）→［編集］→各項目を設定→［OK］

削除：ブックマークを選択（1秒以上）→［削除］→［OK］

◆ Webサイトの表示方法を変更

❖文字サイズの変更

1 Webサイト表示中に[icon]→［設定］→［高度な設定］→［テキストサイズ］→文字サイズを選択

❖デフォルトの倍率を変更

Webサイトの表示倍率を設定します。

1 Webサイト表示中に[icon]→［設定］→［高度な設定］→［デフォルトの倍率］→倍率を選択

◆ Webサイトのリンクを操作

Webサイトに表示されているリンクをタップすると、次の操作ができます。

URLの場合

- **タップ**：Webサイトを開きます。
- **1秒以上タッチ**：URLをコピーできます。

電子メールアドレスの場合

- **タップ**：メールを作成できます。
- **1秒以上タッチ**：メールアドレスをコピーできます。

電話番号の場合

- **1秒以上タッチ**：電話番号を連絡先に追加、コピーできます。

ファイルの場合

- **タップ**：ファイルを閲覧、保存できます。
- **1秒以上タッチ**：ファイルを保存できます。

✔**お知らせ**

- 保存したファイルは、Document Viewerやダウンロード履歴などで確認できます。

◆ Webサイトに表示されている画像を保存

1 Webサイト表示中に画像を選択（1秒以上）→［画像を保存］

- 保存した画像は、ギャラリー（→P81）やダウンロード履歴で確認できます。

◆ ホームページの設定

ブラウザを起動したときや、新しいタブを開いたときに表示されるホームページを設定します。

1 Webサイト表示中に[icon]→［設定］→［全般］→［ホームページを設定］→URLを入力→［OK］

◆ 履歴やキャッシュの削除

1 **Webサイト表示中に▤→[設定]→[プライバシーとセキュリティ]→[キャッシュを消去]／[履歴消去]／[Cookieをすべて消去]／[フォームデータを消去]／[位置情報アクセスをクリア]／[パスワードを消去]→[OK]**

◆ セキュリティの設定

1 **Webサイト表示中に▤→[設定]→[プライバシーとセキュリティ]／[高度な設定]→各項目を設定**

セキュリティ警告：チェックを付けると、サイトの安全性に問題がある場合に警告が表示されます。セキュリティ保護のため、チェックを外さないことをおすすめします。
Cookieを受け入れる：チェックを外してCookieの保存と読み取りを禁止すると、安全性をより高めることができます。
パスワードを保存：チェックを外してWebサイト閲覧中に入力したサイトのユーザー名とパスワードを保存しないようにすると、安全性をより高めることができます。
JavaScriptを有効にする：チェックを外すと、安全性をより高めることができます。
プラグインを有効にする：［オンデマンド］または［OFF］に設定すると、ブラウザの拡張機能の利用が禁止され、安全性をより高めることができます。

✔お知らせ

- Cookieを禁止すると、一部のウェブサービスが利用できなくなる場合がありますのでご注意ください。

ファイル管理

Bluetooth®通信

本端末とBluetooth機器を接続してワイヤレスで通信したり、音声や音楽などを再生したりします。

- Bluetooth接続を行うと電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

✔お知らせ

- 対応バージョン、プロファイルなどについては「主な仕様」をご覧ください。→P109
- ワンセグの音声は、SCMS-T方式の著作権保護に対応しているA2DP対応Bluetooth機器でのみ再生できます。
- Bluetooth機器のご使用にあたっては、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

❖Bluetooth機能取り扱い上のご注意

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。本端末とBluetooth機器の間に障害物がある場合や周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。
- 電気製品／AV機器／OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。他の機器の電源が入っているときは正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

❖無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、無線LANの電源を切るか、本端末やBluetooth機器を無線LANから10m以上離してください。

◆ Bluetooth機能ON／OFF

Bluetooth機能を利用するときは、Bluetooth機能をONに設定してください。利用しないときは、電池の減りを防ぐためOFFに設定してください。

- Bluetooth機能ON／OFFの設定は、電源を切っても変更されません。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[無線とネットワーク]

2 [Bluetooth]にチェック

ONになるとステータスバーに ✱ が表示されます。

Bluetooth機能OFF：**[Bluetooth]のチェックを外す**

- 設定パネルでもON／OFFを設定できます。→P29

◆ Bluetooth機器との接続

Bluetooth機器を接続します。Bluetooth機器で音楽を聴いたり、Bluetooth機器とデータを送受信したりすることができます。

- Bluetooth機器をあらかじめ接続できる状態にしてください。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[無線とネットワーク]

2 [Bluetooth]にチェック→[Bluetooth設定]→[付近のデバイスの検索]

- 再度デバイスを検索する場合は［デバイスのスキャン］をタップします。

3 検出されたBluetooth機器をタップ→必要に応じてパスコード(PIN)を入力して[OK]／[ペア設定する]

■ 他のBluetooth機器から接続要求を受けた場合

Bluetoothのペア設定リクエスト画面が表示された場合は、必要に応じてパスコード（PIN）を入力して［OK］をタップするか、［ペア設定する］をタップしてください。

✔お知らせ

- Bluetooth設定からペア設定済みのBluetooth機器の右側のをタップすると、デバイス名の変更、ペアの解除、接続種別の選択ができます。
- Bluetooth機器から本端末を検出できない場合は、Bluetooth設定の［検出可能］をチェックします。チェックを外すと検出許可を解除します。

◆ Bluetooth機器とのデータ送受信

ギャラリー（→P81）や連絡先などのデータを送信したり、Bluetooth機器からデータを受信したりできます。

〈例〉ギャラリーのファイルを送信する

1 ギャラリーを開いて画像を選択(1秒以上)

2 →[Bluetooth]

- Bluetooth機能がOFFの場合は、確認画面で［ONにする］をタップしてください。

3 Bluetooth機器をタップ

通知パネルを開くと送信完了を確認できます。

〈例〉Bluetooth機器からファイルを受信する

1 Bluetooth機器からファイルを送信

- Bluetooth機器から本端末を検出できない場合は、Bluetooth設定の［検出可能］をチェックします。

2 ファイル着信通知後に通知パネルを開く→[Bluetooth共有:ファイル着信]→[承諾]

通知パネルまたはBluetooth設定の［受信済みファイルの表示］から受信したファイルを確認できます。

◆ Bluetooth機器との接続解除

1 アプリケーションメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

2 Bluetooth機器をタップ→[OK]

◆ Bluetooth通信での端末名変更

1 アプリケーションメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth]にチェック→[Bluetooth設定]

2 [端末名]→端末名を入力→[OK]

外部機器接続

◆ microSDカードのデータをパソコンから操作

付属のPC接続用USBケーブル T01で本端末とパソコンを接続すると、本端末のmicroSDカードがパソコンのリムーバブルディスクとして認識され、microSDカードのデータをパソコンから操作できます。

- Windows XP、Windows Vista、Windows 7に対応しています。
- 本端末でmicroSDカードを使うアプリケーションを実行している場合は、アプリケーションを終了してから操作してください。

1 本端末とパソコンをUSBケーブルで接続

2 →[USB接続]→[USBストレージをONにする]

- [USBストレージをONにする]の注意が表示された場合は[OK]をタップします。

3 パソコン側で該当のリムーバブルディスクを表示

4 microSDカードとパソコンの間で、データをドラッグ＆ドロップ

✔お知らせ

- microSDカードがパソコンにマウントされると、カメラなどmicroSDカードを使用するアプリケーションは利用できません。

❖USBケーブルの安全な取り外し

- データ転送中にUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

1 パソコン側でハードウェアの安全な取り外しを実行

2 [USBストレージをOFFにする]→USBケーブルを取り外す

◆ USBマスストレージとのデータやりとり

USBメモリやUSB接続の外付けハードディスクドライブなどを周辺機器接続用USBケーブル T01（別売）で本端末に接続して、データのやりとりができます。

1 本端末とUSBマスストレージをUSBケーブルで接続

- USBマスストレージ（複数接続した場合は1台のみ）が自動でマウントされます。

2 目的の操作を行う

✔お知らせ

- ACアダプタ付きのUSBマスストレージは、ACアダプタを接続してください。接続しないと外部ストレージと認識されません。

❖USBマスストレージの取り外し

- データ転送中にUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[ストレージ]→[USBストレージのマウント解除]→USBケーブルを取り外す

アプリケーション

カメラ

◆ 撮影時の注意事項

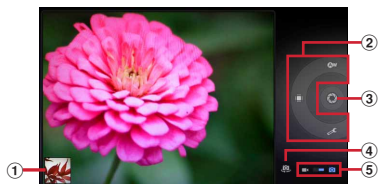
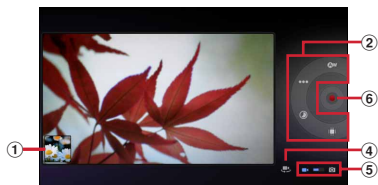
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が現れることがありますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- カメラ利用時は電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- マナーモードの設定に関わらず、シャッター音は鳴ります。

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

◆ 撮影画面の見かた

カメラ(写真)撮影画面

ビデオ(録画)撮影画面

① 最後に保存した写真/ビデオの表示・再生
② 設定アイコン
③ シャッターボタン
④ インカメラ/アウトカメラの切り替え
⑤ カメラ(写真)/ビデオ(録画)の切り替え
⑥ 録画開始/終了ボタン

◆ カメラ(写真)撮影

1 アプリケーションメニューで[カメラ]→撮影画面に被写体を表示→

シャッター音が鳴り、写真が撮影されます。

◆ ビデオ(録画)撮影

1 アプリケーションメニューで[カメラ]→ を側にスライド→撮影画面に被写体を表示→

撮影開始音が鳴り、撮影が始まります。

- 撮影が開始されると、撮影画面右上に録画経過時間が表示されます。

2

撮影停止音が鳴り、撮影が終了します。

◆ 撮影時の設定変更

- 組み合わせにより選択できない項目があります。

❖カメラ(写真)撮影時の設定変更

■ ホワイトバランス(アウトカメラのみ)

カメラの色味を環境に合わせて設定します。

■ データ保存先切替

撮影データの保存先を選択します。

■ カメラ設定

位置情報を記録する:位置情報のON/OFFを切り替えます。

フォーカスモード(アウトカメラのみ):被写体に合わせて、フォーカスのモードを切り替えます。

- 約8cm～無限遠まで被写体にピントを合わせることができます。
- [オート]/[マクロ]のときは、シャッターボタンを1秒以上タッチしても、フォーカスロックできます。ピントが合うとフォーカス枠が緑色になり、確認音が鳴ります。

表示サイズ:カメラ(写真)撮影時の画像サイズを選択します。

写真の画質:カメラ(写真)撮影時の画質を選択します

初期設定に戻す:カメラの各設定をお買い上げ時の状態に戻します。

❖ビデオ（録画）撮影時の設定変更

■ ホワイトバランス（アウトカメラのみ）
カメラの色味を環境に合わせて設定します。

■ 動画の画質
ビデオ（録画）撮影時の画像サイズを選択します。

■ 低速度撮影の間隔
低速度撮影時の時間間隔を選択します。

■ データ保存先切替
撮影データの保存先を選択します。

ギャラリー

カメラで撮影したりダウンロードしたりして保存した画像（静止画、動画）を表示／再生します。

- 次のファイル形式のデータを表示／再生できます。
  静止画：JPEG、BMP、GIF、PNG
  動画：H.263、H.264、H.264 AVC、MPEG-4、VC-1、VP8、WMV9

◆ 画像の表示／再生

1 アプリケーションメニューで[ギャラリー]→アルバムを選択→画像を選択
- 動画は画像一覧で ▶ が表示されます。アプリケーションを選択して再生します。
- 前後の画像に切り替えるには、画面を左右にフリックします。

■ 静止画表示中の操作
- ピンチイン／ピンチアウトで縮小／拡大します。

■ 動画再生中の操作
- [◀][▶]で音量を調節します。
- 画面をタップして表示されるキーやプログレスバーで、再生／一時停止、巻き戻し／早送りなどの操作をします。

■ 画像一覧での操作
- 画像を1秒以上タッチすると、枠の色が変わり選択状態になります。タップすると選択解除します。
- 画像を選択した状態で画面上部の［XX件のアイテムを選択済み］→［すべて選択］／［選択をすべて解除］をタップすると、画像の全選択／全解除ができます。

✔お知らせ
- 画面上部に表示される［アルバム別］／［画像と動画］をタップすると、画像の分類を変更します。
- 画面上部に表示されるアイコンをタップすると、次の操作ができます。
  [カメラ]：カメラを起動
  [i]：詳細情報の表示
  [▶]：スライドショー
  [共有]：送信方法を選択して画像の送付や共有
  [削除]：画像の削除
  [メニュー]：画像の利用（アルバム一覧ではオフラインで使用）

ミュージックプレーヤー

ミュージックプレーヤーを使用して、microSDカードに保存した音楽を再生します。

- パソコンからmicroSDカードへ音楽ファイルを転送する方法については、「microSDカードのデータをパソコンから操作」をご覧ください。→P78
- 再生可能なファイル形式／コーデックは次のとおりです。ただし、ファイルによっては再生できない場合があります。
  WMA9、AAC、MP3、MIDI

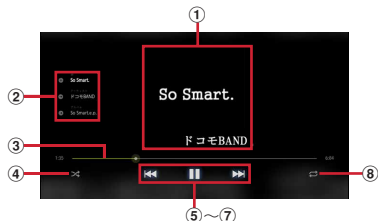
◆ 音楽再生

1 アプリケーションメニューで[音楽]→[最新]→項目を選択

- [曲]をタップした場合は、操作3に進みます。

2 アイテムを選択

3 曲を選択

❖ 再生画面の操作

① 曲のジャケット画像
② 曲名／アーティスト名／アルバム名
- 曲名をタップしてプレイリストに追加
- 1秒以上タッチして関連コンテンツの検索

③ スライドで再生位置を指定
④ シャッフルのON／OFF
⑤ 再生時間が2秒未満でタップすると前の曲に移動／再生時間が2秒以上でタップすると曲の先頭に移動／1秒以上タッチすると巻き戻し
⑥ 一時停止／再生
⑦ 次の曲に移動／1秒以上タッチすると早送り
⑧ 全曲繰り返し／現在の曲繰り返し／繰り返しOFF
[◀][▶]：音量調節

◆ プレイリストを作成

1 曲一覧画面で■→[プレイリストに追加]→[新しいプレイリストに追加]→プレイリスト名を入力→[OK]

❖ プレイリストに曲を追加

1 曲一覧画面で■→[プレイリストに追加]→プレイリストを選択

❖ プレイリストの曲の並べ替え

1 再生リストのプレイリスト画面でプレイリストを選択→曲の■を移動先にドラッグ

❖ プレイリストから曲を削除

1 再生リストのプレイリスト画面でプレイリストを選択→曲の■→[プレイリストから削除]

◆ 関連するコンテンツを検索

1 曲一覧画面で■→[検索]

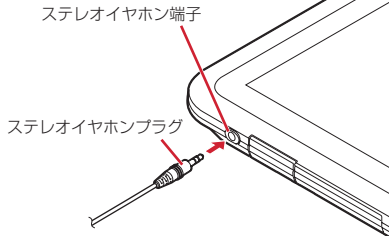
2 [F media2U]／[YouTube]／[ブラウザ]／[音楽]

指定したメディア内でコンテンツが検索されます。

ステレオイヤホン

本端末にステレオイヤホンを取り付けて、動画や音楽の再生音をイヤホンで聞きます。

- 入力マイクの設定→P57

1 ステレオイヤホン(別売)のプラグを本端末のステレオイヤホン端子に差し込む

YouTube

YouTubeは、Googleのオンライン動画ストリーミングサービスです。動画の再生、検索、アップロードなどができます。

1 アプリケーションメニューで[YouTube]

動画の一覧画面が表示されます。

- ≡→［ログイン］をタップして、ログインすると動画をアップロードしたり、お気に入りや再生リストなどを作成したりできます。
- YouTubeにログインして利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回ログイン時に画面の指示に従って設定してください。

2 動画を選択

- 再生画面をタップすると一時停止／再生の切り替えができます。
- ◀ ▶で音量調節ができます。
- 再生画面をダブルタップすると、横画面で全画面表示されます。

✔お知らせ

- 数百MB以上の大容量の動画ファイルは、パソコンからアップロードしてください。ネットワーク環境により本端末からはアップロードできない場合があります。

Androidマーケット

Androidマーケットを利用すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接アクセスでき、本端末にダウンロード、インストールすることができます。また、アプリケーションのフィードバックや意見を送信することができます。

- Androidマーケットを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、初回Androidマーケット起動時に画面の指示に従って設定してください。

1 アプリケーションメニューで[マーケット]

Androidマーケット画面が表示されます。

- 初回起動時はAndroidマーケット利用規約を読み、［同意する］をタップします。

✔お知らせ

- アプリケーションのインストールは、安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染やデータの破壊などが起きる可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。

◆ Androidマーケットのヘルプ

1 Androidマーケット画面で▤→[ヘルプ]

◆ アプリケーションを検索してインストール

1 Androidマーケット画面でアプリケーションを検索

2 アプリケーションを選択→詳細画面で価格、総合評価、ユーザーの意見などを確認

3 [ダウンロード]（無料アプリケーションの場合）／[購入]（有料アプリケーションの場合）

- 有料アプリケーションの購入→P85
- アプリケーションが本端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリケーションがどの機能を利用するかを示す画面が表示されます。
  多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションにはご注意ください。この画面で［OK］をタップすると、本端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。アプリケーションの使用条件に同意する場合は［OK］をタップします。

4 ステータスバーの⬇をタップ→インストール中のバーをタップ

5 一覧画面でインストール中のアプリケーションを選択→ダウンロードの進捗状況を確認

- ダウンロードを停止する場合は、［キャンセル］をタップします。
  インストールが完了すると、ステータスバーに☑が表示されます。

✔お知らせ

- アプリケーションメニューにインストールしたアプリケーションのアイコンが表示されます。
- インストールしたユーザー補助プラグインは、ユーザー補助プラグインの一覧画面で有効にすることができます。→P65

◆ アプリケーションの購入

アプリケーションが購入制の場合は、ダウンロードする前に購入してください。規定の時間試用することができます。規定の時間以内に返金を請求しない場合は、そのままクレジットカードより料金が支払われます。

- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードしたあとのアンインストールと再ダウンロードには料金はかかりません。

1 **Androidマーケット画面でアプリケーションを検索→アプリケーションを選択**

2 **[購入]**

- アプリケーションが本端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリケーションがどの機能を利用するかを示す画面が表示されます。
  多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションにはご注意ください。この画面で［OK］をタップすると、本端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。アプリケーションの使用条件に同意する場合は［OK］をタップします。

3 **[支払い方法を選択]→支払い方法を選択→[OK]**

- 初回購入時はGoogle Checkout支払い請求サービスにログインします。Google CheckoutはGoogleの提供するサービスで、本端末からアプリケーションを購入するための高速、安全、便利な購入手段です。詳しくはAndroidマーケット画面で▤→［ヘルプ］→「アプリケーションの購入」をご覧ください。
- Google Checkoutアカウントを持っていない場合は、画面の指示に従ってフォームに入力してください。
- 本端末にはGoogle Checkout PINが記憶されるため、画面ロックを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。→P44

4 **[払い戻しポリシー]、[Googleの請求とプライバシーポリシー]→文書を確認**

5 **Google Checkoutのサービス条項に同意して[今すぐ購入]**

インストールが完了すると、ステータスバーに が表示されます。

■ 返金要求について

アプリケーションに満足しない場合、規定の時間内であれば返金を要求することができます。アプリケーションは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金要求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金要求はできません。

◆ Androidマーケットのアプリケーションの削除

1 **Androidマーケット画面で[マイアプリ]**

2 **アプリケーションを選択**

3 **[アンインストール]**

- 有料アプリケーションで［アンインストールと払い戻し］が表示されない場合、試用期間が終了しています。

ドコモマーケット

ドコモマーケットでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリケーションに簡単にアクセスすることができます。

1 アプリケーションメニューで[ドコモマーケット]

ブラウザが起動し、ドコモマーケットが表示されます。

✔お知らせ

- ドコモマーケットのご利用には、パケット通信（LTE／3G／GPRS）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- ドコモマーケットへの接続およびドコモマーケットで紹介しているアプリケーションのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリケーションによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- ドコモマーケットで紹介しているアプリケーションには、一部有料のアプリケーションが含まれます。
- ドコモマーケットで紹介しているサイト、または、そこから取得された情報によって生じたいかなる損害についても、ドコモは責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ドコモマーケットで紹介しているアプリケーションの動作内容、使用目的への適合性、信頼性に関してドコモは責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行うアプリケーションによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や端末に登録された個人情報などが、インターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作の状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本サイト上に掲載されている著作物（文書・写真・イラスト・動画・音声・ソフトウェアなど）の著作権は、ドコモまたは第三者が保有しており、著作権法その他の法律ならびに条約により保護されております。私的使用目的の複製、引用など著作権法上認められている範囲を除き、著作権者の許諾なしに、これらの著作物を複製、翻案、公衆送信などすることはできません。

GPS／ナビ

本端末のGPS機能と対応するアプリケーションを使用して、現在地の確認や目的地までのルート検索などを行うことができます。

◆ GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されておりますので、米国の国防上の都合により、GPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化、電波の停止など）されることがあります。

- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。また、本体右上部分にGPSアンテナがありますので、その付近を手で覆わないようにしてお使いください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- かばんや箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

◆ 位置情報サービスの設定

❖GPS機能を使用

1 アプリケーションメニューで[設定]→[現在地情報とセキュリティ]→[GPS機能を使用]にチェック→[同意する]

✔お知らせ

- 精度の高い位置情報を測位するには、視界が良好な場所で使用してください。
- 本機能を使用すると電池の消費が多くなりますのでご注意ください。
- 無線ネットワークの現在地検索と併用することをおすすめします。

❖無線ネットワークでの現在地検索を使用

Wi-Fiやモバイルネットワーク基地局からの情報をもとに、現在地を検索します。

1 アプリケーションメニューで[設定]→[現在地情報とセキュリティ]→[無線ネットワークを使用]にチェック→[同意する]

- ［無線ネットワークを使用］にチェックを付けると、Googleの位置情報サービスによる匿名化された位置データの収集に同意したものとみなされます。データ収集はアプリケーション起動の有無にかかわらず行われます。

◆ Googleマップ

Googleマップで現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行います。

- Googleマップを利用するには、LTE／3G／GPRSネットワークでの接続またはWi-Fi接続が必要です。
- 現在地を測位するには、あらかじめ位置情報サービスを有効にしてください。
- Googleマップは、すべての国や都市を対象としているわけではありません。

❖現在地を表示

1 アプリケーションメニューで[マップ]→

- 地図をスクロールまたはパンして見たい部分を表示します。
- 次の方法で地図を拡大／縮小します。
  ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小します。
  ダブルタップ：拡大します。
  2本指タップ：縮小します。

❖ストリートビュー

- ストリートビューに対応していない地域もあります。

1 地図表示中に地点を選択(1秒以上)→表示された吹き出しをタップ→[ストリートビュー]

- ストリートビュー表示中に→［コンパスモード］をタップしてコンパスモードをオンにすると、本端末の電子コンパスとストリートビューの方位が連動します。

❖場所を検索

1 地図表示中に[地図を検索]→検索ボックスにキーワードを入力

- 住所、都市、ビジネスの種類や施設（例：ロンドン 美術館）を入力します。

2 ／検索候補を選択→地図上の吹き出しをタップ

- 検索結果が複数ある場合は、地図上の赤丸を選択して吹き出しを表示します。［検索結果］をタップしてリストを表示し、目的の場所を選択して詳細情報とオプションを開くこともできます。
- 場所によって利用できるオプションは異なります。

❖レイヤを表示

地図表示に道路の渋滞情報を追加したり、航空写真表示に切り替えたりします。

1 地図表示中に→項目を選択

- 渋滞状況と路線図は提供地域が限定されています。

❖道案内

1 地図表示中に

2 [現在地]→出発地を入力→[目的地:]→目的地を入力

- 現在地から道案内をする場合は、出発地は［現在地］のままにします。
- 入力欄右のをタップして、現在地や連絡先の住所、地図上の場所を指定することもできます。

3 移動手段(自動車／公共交通機関／徒歩)を選択→[実行]

：自動車　：公共交通機関　：徒歩

- 自動車を選択した場合は、をタップするとナビを開始します。
- 検索して複数の到着地やルートが見つかった場合は選択します。

✔お知らせ

- アプリケーションメニューで［ナビ］の操作でもナビを起動することができます。

◆ Google Latitudeで友だちの現在地を確認

地図上で友だちと位置を確認しあうことができます。

- Google Latitudeを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。Googleアカウントが未設定の場合は、Latitudeの初回起動時に画面の指示に従って設定してください。
- 位置情報は自動的に共有されません。Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友だちを招待するか、友だちからの招待を受ける必要があります。

❖Latitudeに参加

1 地図表示中に▤→[Latitudeに参加]

- Latitudeの詳細については、次の操作でモバイルヘルプをご覧ください。
  地図表示中に▤→［ヘルプ］→［Google Latitude］

✔お知らせ

- アプリケーションメニューで［Latitude］の操作でもGoogle Latitudeを起動することができます。

◆ プレイス

現在地周辺の施設や店舗などをすばやく検索します。

1 アプリケーションメニューで[プレイス]

2 施設／店舗を選択

- ［追加］をタップすると、一覧にない施設や店舗（美術館、書店など）を追加できます。

3 目的の場所を選択

- 場所によって利用できるオプションは異なります。

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。
また、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。

「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

◆ ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送エリアに表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。
  「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。
  「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。
  サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

◆ 放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、Xiサービスおよび FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、XiサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所
- 場所を移動することで受信状態が良くなることがあります。

✔お知らせ

- 充電しながら長時間ワンセグを視聴すると、電池パックの寿命が短くなることがあります。

◆ ワンセグの起動

1 アプリケーションメニューで[テレビ]

ワンセグ視聴画面が表示されます。

- 初めて起動したときは、使用許諾を読んで［同意する］をタップし、視聴する地域に対応したチャンネルリストを作成します。→P92

✔お知らせ

- 起動時に最低限必要な電池残量は5%、起動中に動作を継続するのに最低限必要な電池残量は2%です。
- ワンセグを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 電波状態によって映像や音声が途切れたり、停止したりする場合があります。

❖ワンセグ視聴画面について

① テレビ映像エリア
- 全画面表示でタップして選局ボタンの表示
- ダブルタップして全画面／視聴画面の切り替え
- 1秒以上タッチして画面固定
- 左右にスライドしてチャンネルの切り替え

② 字幕表示エリア

③ チャンネル、放送局、番組名
- タップして番組内容の表示

④ データ放送エリア

⑤ データ放送の操作ボタン

⑥ 選局ボタン

⑦ チャンネル切り替えボタン
- 1秒以上タッチして、チャンネルサーチの実行

未登録の放送局が見つかったときは、▤→［設定］→［チャンネル］→［チャンネル設定］→［チャンネル追加］→［はい］→［はい］をタップすると、チャンネルリストに追加できます。

⑧ 左にスライドして録画開始／右にスライドして録画終了

◀ ▶：音量調節

▤：番組表の表示

◆ テレビリンク

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。テレビリンクを登録すると、関連サイトを直接表示できます。

❖テレビリンクの登録

1 データ放送エリアでテレビリンク登録可能な項目を選択

- テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。
- テレビリンクの接続先がHTMコンテンツ（ブラウザなど）の場合は、テレビリンクコンテンツの登録は行われません。

❖テレビリンクの表示

1 ワンセグ視聴画面で▤→［TVリンク］→テレビリンクを選択

登録されたサイトに接続します。

❖テレビリンクの削除

1 ワンセグ視聴画面で▤→［TVリンク］

2 テレビリンクを選択（1秒以上）→［削除］→［はい］

テレビリンクをすべて削除：▤→［全件削除］→［はい］

◆ ワンセグ録画

視聴中の映像・音声・字幕・データ放送を録画してmicroSDカードに保存します。

1 ワンセグ視聴画面でを左にスライドして録画を開始

- ワンセグ視聴画面→P90

2 を右にスライドして録画を終了

✔お知らせ

- あらかじめF-01DでフォーマットしたmicroSDカードを使用してください。
- 録画中に次の状態になると録画が自動で停止します。
  - microSDカードの空き容量が2MB以下
  - 電池残量が10%以下
  - 録画開始から6時間経過
- 録画したテレビ番組は、著作権保護が設定されているデータとして保存されます。メールに添付することはできません。
- 録画時間が極端に短い（10秒以下の）場合は、録画停止できません。
- 受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。
- 全画面表示では録画操作ができません。視聴画面に切り替えてください。
- 録画中は、チャンネル切り替えはできません。
- 録画中に他のアプリケーションを起動すると、正常に録画できない場合があります。
- 録画中はカメラ（写真）撮影やビデオ（録画）撮影を行えません。
- 録画中にデータ通信サービスを行うと、ワンセグの電波状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。
- 録画中にmicroSDカードのマウントを解除したり、USB接続をしてmicroSDカードをパソコンにマウントすると、録画に失敗することがあります。
- 録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了する場合があります。

❖録画番組の再生

1 ワンセグ視聴画面で▶

2 データを選択

- 再生画面をタップすると、再生コントローラーが表示されます。また、再生画面をダブルタップすると、全画面表示になります。
- 前回途中で再生を終了した場合は、続きから再生されます。

[◀][▶]：音量調節

✔お知らせ

- 録画リスト画面で、データを1秒以上タップすると、再生、タイトル名の変更、データの保護／解除などが行えます。

❖録画リストからデータを削除

1 ワンセグ視聴画面で▶

2 データを選択（1秒以上）

3 ［削除］→［はい］

- 全件削除するときは、録画リスト画面で☰→［全件削除］→［はい］

◆ワンセグの各種設定

1 ワンセグ視聴画面で☰→［設定］

2 ［全般設定］／［チャンネル］→各項目を設定

字幕表示：字幕表示のオン／オフを設定します。
字幕言語切替：複数の字幕がある番組で、どの字幕を表示するかを設定します。
主・副音声切替：副音声を放送している番組で、主音声と副音声を切り替えます。
音声切替：複数の音声を放送している番組で、どの音声を聞くかを設定します。
左右音声切替：左右どちらの音声を聞くかを設定します。
なめらかモード：映像をなめらかにする機能を使用するかどうかを設定します。［なめらかモード］にチェックを付けると電池の消費が増え、視聴できる時間が短くなります。
チャンネル設定：「チャンネル設定」→P92
放送用メモリ初期化：データ放送で登録した情報やテレビリンクなどを消去します。

◆チャンネル設定

❖チャンネルリストの作成

1 ワンセグ視聴画面で☰→［設定］→［チャンネル］→［チャンネル設定］→［チャンネルリスト編集］→［未設定］（1秒以上）

2 ［作成］→［手動設定］／［自動設定］→チャンネルリストを設定

手動設定：地域一覧から視聴する地域を選択して、チャンネルリストを作成します。
自動設定：現在地で受信可能な放送局をスキャンして、チャンネルリストを作成します。

✔お知らせ

- チャンネルリストを初期化する場合は次の操作を行います。
  ワンセグ視聴画面で☰→［設定］→［チャンネル］→［チャンネル設定］→［チャンネルリスト初期化］→［はい］

❖チャンネルリストの切り替え

1 ワンセグ視聴画面で☰→［設定］→［チャンネル］→［チャンネル設定］→［チャンネルリスト切替］→チャンネルリストを選択

❖チャンネルリストから放送局を削除

1 ワンセグ視聴画面で▤→[設定]→[チャンネル]→[チャンネル設定]→[チャンネルリスト編集]

2 チャンネルリストを選択

3 放送局を選択(1秒以上)

複数削除：[複数削除] →放送局にチェック→ [削除]

4 [はい]

❖チャンネルボタンの割り当てを変更

1 ワンセグ視聴画面で▤→[設定]→[チャンネル]→[チャンネル設定]→[チャンネルリスト編集]

2 チャンネルリストを選択→[並べ替え]

3 ▤をドラッグしてリストを並べ替える→[完了]

◆ 地デジ番組を再生する

microSDカードに書き込んだ地デジ放送番組を高画質(VGAクラス)で視聴することができます(地デジ持ち出し機能)。

- 書き込んだ機器によっては再生できない場合があります。

1 microSDカードに地デジ放送番組を書き込む

2 microSDカードを本端末に挿入

3 アプリケーションメニューで[テレビ]→▣

4 地デジ番組を選択

✔お知らせ

- 地デジ放送番組をmicroSDカードに書き込むときは、別売のSDメモリカード変換アダプタなどを使用して行ってください。

DLNA対応機器との連携

本端末のmicroSDカードに保存されている静止画、動画、音楽のコンテンツを、DLNA対応のテレビやパソコンで再生できます。また、DLNA対応のパソコンやネットワーク接続HDD(NAS)のコンテンツを、本端末で再生できます。

- DLNA対応機器と連携するにはWi-Fiネットワーク接続が必要です。→P52
- DLNA対応機器側での操作については、DLNA対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本端末とすべてのDLNA対応機器間での連携を保証するものではありません。

◆ DLNAサーバーの起動

DLNAサーバーを起動して、DLNA対応機器からのアクセスを許可します。

1 アプリケーションメニューで[DiXiM Server]

[DiXiM Server] にチェックが付き、ステータスバーに▣が表示されます。

2 [アクセス制御]→[クライアント機器の一覧]でアクセスを許可するDLNA対応機器にチェック

本端末へのアクセスが許可されます。

◆ 本端末のコンテンツをDLNA対応機器で再生

- あらかじめDLNAサーバーを起動し、DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。

1 アプリケーションメニューで[DiXiM Player]→サーバー一覧で本端末のサーバー名を選択

2 DLNA対応機器側で操作

- 本端末のDiXiMサーバーにアクセスしてコンテンツを再生します。

✔お知らせ

- カメラで撮影した動画などは、F-01D以外のDLNA対応機器で再生できない場合があります。

◆ 本端末のコンテンツを配信

本端末のコンテンツをDLNA対応機器に配信し、本端末で再生の操作ができます。

- あらかじめDLNAサーバーを起動し、DLNA対応機器からのアクセスを許可しておきます。また、DLNA対応機器側でも本端末からの制御を許可しておきます。

1 アプリケーションメニューで[DiXiM Player]→サーバー一覧で本端末のサーバー名を選択

2 [設定]→[タップ時の動作]→[リモート機器で再生]→[リモート機器を選択]→再生先のDLNA対応機器を選択

- 再生先は、前回再生を行ったDLNA対応機器が記憶されています。

3 再生する種別を選択→フォルダを選択→コンテンツを選択

4 プレーヤー画面で再生

◆ DLNA対応機器のコンテンツを本端末で再生

- あらかじめDLNA対応機器側でコンテンツを公開し、本端末からのアクセスを許可してください。

1 アプリケーションメニューで[DiXiM Player]→サーバー一覧でDLNA対応機器のサーバー名を選択

2 [設定]→[タップ時の動作]→[この端末で再生]

- ［タップ時の動作］で［リモート機器で再生］を選択し、［リモート機器を選択］で再生先を選択することで、別のDLNA対応機器で再生することもできます。

3 再生する種別を選択→フォルダを選択→コンテンツを選択

4 プレーヤー画面で再生

✔お知らせ

- 本端末はDTCP-IPに対応しています。ただし、すべてのDTCP-IP対応機器との連携を保証するものではありません。
- コンテンツ選択画面でコンテンツを1秒以上タッチし、そのまま下方向にスライドすると、コンテンツのダウンロードができます。ただし、著作権保護されたコンテンツはダウンロードできません。

◆ DLNAサーバー機能の設定

1 アプリケーションメニューで[DiXiM Server]

2 各項目を設定

DiXiM Server：チェックを付けると、DLNA機能がオンになります。
サーバー名：DLNA対応機器に表示される名前を変更できます。
アクセス制御：［アクセス権の初期設定］にチェックを付けると、DLNA対応機器から本端末へのアクセスを許可します。チェックを外すと、［クライアント機器の一覧］でチェックを付けたDLNA対応機器のみアクセスが許可されます。
画面ロック中の動作：画面ロック解除の認証が必要な場合でも、サーバーの動作を継続するかどうかを設定します。

時計

卓上時計を表示したり、アラームを設定したりします。

1 アプリケーションメニューで[時計]

卓上時計が表示されます。

◆ アラームの設定

1 アプリケーションメニューで[時計]→

2 目的の操作を行う

アラームON／OFF切り替え：**アラームにチェック／チェックを外す**
新規アラームを設定：**［アラームの設定］→時刻を設定→［繰り返し］／［アラーム音］／［バイブレーション］／［ラベル］を設定→［完了］**
アラームの削除：**時刻表示欄を選択（1秒以上）→［アラームを削除］→［OK］**

3 [完了]

❖ アラーム通知時刻になると

設定に従ってアラームが動作します。
アラームの停止：**通知画面で［停止］**
スヌーズを設定：**通知画面で［スヌーズ］**
- 一定時間が経過すると再びアラームが動作します。

スヌーズを解除：**通知パネルを開く→スヌーズ通知をタップ**

カレンダー

本端末のカレンダーをオンラインのGoogleカレンダーと同期させて、予定を管理できます。
- カレンダーを利用するには、本端末にGoogleアカウントを設定する必要があります。

◆ カレンダーの表示

1 アプリケーションメニューで[カレンダー]

■ カレンダー画面での主な操作

表示単位の切り替え：**［日］／［週］／［月］**
今日を含む表示に切り替え：**［今日］**
同期、表示するカレンダーの選択：**≡→［設定］→同期、表示するアカウントをタップ→右側リスト欄のアカウントにチェック**
- オンラインのGoogleカレンダーで複数のカレンダーを使用している場合に選択できます。

カレンダー設定：**≡→［設定］→［全般設定］→各項目を設定**

◆ 予定の登録

1 カレンダー画面で

- 初回や未同期のときはアカウント追加画面が表示されます。必要に応じてアカウントを追加してください。
- 時間帯を1秒以上タッチしても登録できます。

2 各項目を設定→[完了]

❖ 通知の時間になると

設定に従って通知が行われます。次の操作で通知を消去したりスヌーズを設定したりできます。

1 通知パネルを開き、通知をタップ

2 目的の操作を行う

通知の消去：通知をタップ
詳細画面が表示され、通知が消去されます。
通知をすべて消去：[通知を消去]
通知をすべてスヌーズ：[すべてスヌーズ]
5分後に再度予定を通知します。

◆ 予定の確認

カレンダーに登録した予定の詳細を表示します。

1 カレンダー画面で予定をタップ

- 月表示の場合は日付をタップしてから予定をタップします。

■ 予定表示画面での操作

予定の編集：[詳細]→[編集]→予定を編集→[完了]
予定の削除：[削除]→[OK]

電卓

1 アプリケーションメニューで[電卓]

2 計算する

入力した文字の消去：
数式をすべて消去：（1秒以上）
コピー：数式表示欄をタッチ（1秒以上）

電子辞書

電子辞書を利用します。付属の電子辞書データDVD（試供品）に収録されている電子辞書をmicroSDカードや内蔵メモリに保存して利用することもできます。

1 アプリケーションメニューで[統合辞書+]

2 キーワードを入力→[検索]

検索結果（候補一覧）が表示されます。
音声検索：→キーワードを発声
ヘルプの表示：
電子辞書の操作方法を確認できます。
バージョン情報などの表示：
電子辞書設定：→[設定]→各項目を設定
文字サイズ、検索件数、動画や音声再生の動作などを設定できます。
辞書の管理：→[辞書管理]→目的の操作を行う
内部／外部メモリに保存されている辞書の移動や削除を行います。

3 候補一覧から調べたいキーワードをタップ

候補一覧の右側に詳細説明が表示されます。

✔お知らせ

- 辞書を指定する辞書別検索、複数の条件やキーワードを指定する複合検索、同じキーワードを複数の辞書で調べる一括検索なども利用できます。
- 調べたキーワードを単語帳に登録したり、検索履歴から利用したりできます。
- 詳細説明のリンクから、単語の意味を参照したり、画像を表示したり、動画や音声を再生したりできます。
- 音声検索を利用する場合や、辞書別検索でWikipedia検索を利用した場合は、パケット通信料がかかることがあります。

◆ DVDの電子辞書をmicroSDカード／内蔵メモリに保存

パソコンを使って、付属のDVD（試供品）に収録されている電子辞書データをmicroSDカード／内蔵メモリに保存します。microSDカード／内蔵メモリ内の電子辞書の削除もできます。

- Windows XP（必要メモリ128Mバイト以上）、Windows Vista（必要メモリ512Mバイト以上）、Windows 7（必要メモリ32ビット版1Gバイト以上、64ビット版2Gバイト以上）に対応しています（いずれも日本語版）。
- DVDに収録されている電子辞書をすべてmicroSDカードまたはmicroSDHCカードに保存するには、空き容量が2Gバイト以上あることを推奨します。
- 付属の電子辞書データDVD（試供品）内の辞書以外は使用できません。
- USBケーブルで本端末とパソコンを接続する場合→P78

1 DVDをパソコンにセットする

2 「書籍の追加・削除」画面の手順に従って、DVDの辞書をmicroSDカード／内蔵メモリに追加したり、microSDカード／内蔵メモリ内の辞書を削除したりする

Document Viewer

Office文書（Word、Excel、PowerPoint）などを表示します。

1 アプリケーションメニューで[Document Viewer]

2 フォルダ／ファイルを選択

- 画面をタップするとアイコンが表示され、次の操作ができます。
  ◁／▷：前後のページ（シート）を表示
  ：ズームコントロールを表示
  ：表示範囲を指定
  ：ファイル一覧に戻る
- 各ファイルの閲覧画面でを押すと、移動、検索、ページ表示、コピー、設定、共有、エンコードの設定、バージョン情報の表示などができます。操作できる項目はファイルの種類により異なります。

✔お知らせ

- Office文書の表示内容がパソコンでの表示と異なっていたり、文書の一部が表示されない場合があります。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。SMSは設定の変更なくご利用になれます。

- 本端末は、3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。海外ではXiエリア外のため、3GまたはGPRSネットワークをご利用ください。
- 海外でご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  - 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  - ドコモの「国際サービスホームページ」
  - 「ドコモ海外利用」アプリケーションのヘルプ

✔**お知らせ**

- 国番号／国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号／接続可能な国・地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

海外で利用できるサービス

主な通信サービス	3G	GSM/GPRS	GSM
SMS	○	○	○
メール※1	○	○	×
ブラウザ※1	○	○	×
GPSの現在地確認※2	○	○	×

※1 ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミング設定をオンにしてください。→P100

※2 GPS測位（現在地確認）を行うとパケット通信料がかかります。

✔**お知らせ**

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

海外でご利用になる前の確認事項

◆ ご出発前の確認

海外でご利用いただく際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書巻末の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 料金について

海外でのご利用料金（パケット通信料）は日本国内とは異なります。

- ご利用のアプリケーションによっては自動的に通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリケーションの動作については、お客様ご自身でアプリケーション提供元にご確認ください。

◆ 滞在国での確認

海外に到着後、端末の電源を入れると、自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

■ 接続について

［通信事業者］の設定で［ネットワークサーチ設定］を［オート］に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

［通信事業者］を手動で設定し、定額サービスの対象事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が1日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用にはパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

■ ディスプレイの表示

ステータスバーにはローミング中を示すアイコンが表示されます。

：ローミング中

- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

■ 日付と時刻

［日付と時刻］の［日付と時刻の自動設定］を設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」→P65

❖ お問い合わせについて

- 本端末やドコモminiUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書巻末をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

海外で利用するための設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

◆ ネットワークの種類の設定

1 アプリケーションメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[3G･LTE／GSM切替]

2 モードを選択

自動：利用できるネットワークを自動的に切り替えます。
3G・LTE：3Gネットワークを利用します。
GSM・GPRS：GSM／GPRSネットワークを利用します。

✔お知らせ

- ネットワークの種類を［自動］に設定しているときに、同じ通信事業者のGSM／GPRSネットワークと3Gネットワークを同時に検出すると、3Gネットワークに優先的に接続します。

◆ 手動で通信事業者を設定

1 アプリケーションメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]→[通信事業者]

2 [ネットワークサーチ設定]→[マニュアル]→[はい]

利用可能なネットワークを検索して表示します。

3 通信事業者のネットワークを選択→[OK]

◆ データローミングの設定

1 アプリケーションメニューで[設定]→[無線とネットワーク]→[モバイルネットワーク]

2 [データローミング]

3 注意画面の内容を確認して[OK]

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、次の設定を行ってください。

- ［モバイルネットワーク］の［3G・LTE／GSM切替］を［自動］に設定します。
- ［モバイルネットワーク］の［通信事業者］の［ネットワークサーチ設定］を［オート］に設定します。

オプション・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳細は、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01
- 卓上ホルダ F35
- USBケーブル F01
- 周辺機器接続用USBケーブル T01
- PC接続用USBケーブル T01
- FOMA ACアダプタ 01※1／02※1、2
- FOMA DCアダプタ 01※1／02※1
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01※1、2
- ACアダプタ F05※2
- FOMA 乾電池アダプタ 01※1
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- 骨伝導レシーバマイク 02
- FOMA 補助充電アダプタ 02※3

※1 本端末と接続するには、FOMA 充電microUSB変換アダプタ T01が必要です。
※2 海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。
※3 本端末と接続するには、付属のPC接続用USBケーブル T01またはFOMA 充電microUSB変換アダプタ T01が必要です。

トラブルシューティング（FAQ）

◆故障かな？と思ったら

- まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P105
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源・充電

●本端末の電源が入らない

電池切れになっていませんか。

●充電ができない（充電中にランプが点灯しない）

- アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。
- 本端末と付属のACアダプタ F05が正しく接続されていますか。→P24
- 付属の卓上ホルダを使用する場合、本端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- 付属のPC接続用USBケーブル T01をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
- 充電しながら通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇してランプが消える場合があります。温度が高い状態では安全のために充電を停止しているため、ご使用後に本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。
- 電池が切れそうな状態で充電すると、約13分で充電が停止する場合があります。その場合は、ACアダプタや卓上ホルダなどのコネクタを抜き差ししてください。

●本端末の電源が切れない

[⏻]を10秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。

■ 端末操作・画面

●ボタンを押しても動作しない

スリープモードになっていませんか。[⏻]を押して解除してください。→P29、45

●電池の使用時間が短い

- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、本書巻末の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

●ドコモminiUIMカードが認識されない

ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P20

●タッチパネルをタップしたとき／ボタンを押したときの画面の反応が遅い

本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。

●操作中・充電中に熱くなる

操作中や充電中、充電しながらワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

●ディスプレイが暗い

画面の明るさ設定を確認してください。→P59

●時計がずれる

長い間、電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付と時刻の［日付と時刻の自動設定］にチェックが付いていることを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。→P65

●タップしても正しく操作できない

- 手袋をしたままで操作していませんか。
- 爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか。
- ディスプレイに保護シートを貼っていませんか。保護シートの種類によっては、正しく操作できない場合があります。
- F-01Dのディスプレイには、静電式タッチパネルを採用しています。指で直接画面に触れて操作してください。

●電源を入れたのに操作できない

PINコードを入力する画面が表示されていませんか。→P43

●本端末の動作が遅くなった／アプリケーションの動作が不安定になった／一部のアプリケーションを起動できない

本端末のメモリの空き容量が少なくなると動作が安定しません。空き容量が少ない旨のメッセージが表示された場合は、不要なアプリケーションを削除してください。→P85

●データが正常に表示されない／タッチパネルを正しく操作できない

電源を入れ直してください。→P24

■ メール

●新着メールを知らせる通知アイコンが表示されない

- 次の設定を変更していませんか。
  - 新着SMS通知の設定→P69
  - 新着Eメール通知の設定→P70

■ ワンセグ・カメラ

●ワンセグの視聴ができない

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送波の弱い場所にいませんか。
- チャンネルを設定していますか。→P92

●カメラで撮影した写真やビデオがぼやける

- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
- フォーカスモードを［オート］にしてください。

■ 海外利用

●海外で、電波状態アイコンが表示されているのに本端末が使えない

WORLD WINGのお申し込みをされていますか。WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

●海外で、圏外が表示され本端末が使えない

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。
- 利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。
- 3G・LTE/GSM切替を［自動］に変更してください。→P100
- ネットワークサーチ設定を［オート］に設定してください。→P100
- 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。

●海外で利用中に突然、本端末が使えなくなった

利用停止目安額を超えていませんか。国際ローミング（WORLD WING）のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、利用累積額を精算してください。

●海外でデータ通信ができない

データローミングの設定を確認してください。→P100

■ データ管理

●microSDカードに保存したデータが表示されない

microSDカードを取り付け直してください。→P21

●データ転送が行われない

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

■ Bluetooth機能

●Bluetooth機器と接続ができない／サーチしても見つからない

Bluetooth機器を登録待機状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度、機器登録を行う場合は本端末とBluetooth機器の両方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。

■ 音声レコーダー

●音声レコーダーで、録音した音声がすべて再生されない

音声レコーダーでの録音データの簡易再生は、ディスプレイの表示が消えると同時に停止します。すべてを再生したい場合には、ミュージックプレーヤーを使用して再生してください。→P81

◆ エラーメッセージ

●しばらくお待ちください

音声回線規制中やパケット通信規制中に表示されます。しばらくたってから操作してください。

●電池残量がありません。シャットダウンします。

電池残量がありません。充電してください。→P22

●やり直してください

画面ロックの解除時にPINまたはパスワードが誤っているときに表示されます。正しい暗証番号またはパスワードを入力してください。→P44

●PINコードが正しくありません。残り回数：X

正しくないPINコードを入力すると表示されます。正しいPINコードを入力してください。→P43

●SIMカードが挿入されていません

ドコモminiUIMカードが正しく挿入されていない場合に表示されます。ドコモminiUIMカードが正しく挿入されているか確認してください。

保証とアフターサービス

❖保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって連絡先などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え連絡先などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末は、電話帳コピーツールなどを使って連絡先データをmicroSDカードに保存していただくことができます。

❖アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください（→P101）。それでも調子がよくないときは、本書巻末の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 次の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や、内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ステレオイヤホン端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

- 本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書巻末の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■ お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 次のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
  - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定してくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末のスピーカーなどに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（連絡先機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化、消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

F-01Dのソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページでご案内させていただきます。

- 更新方法には、次の3種類があります。
  自動更新：新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時刻に書き換えを行います。
  即時更新：更新したいときすぐ更新を行います。
  予約更新：アップデートパッケージをインストールする時刻を予約すると、予約した時刻に自動的にソフトウェアが更新されます。

✔お知らせ

- ソフトウェア更新は、本端末に登録された連絡先、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様のF-01Dの状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

◆ ご利用にあたって

- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 圏外が表示されているとき
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - OSバージョンアップ中
  - 日付と時刻を正しく設定していないとき
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - ソフトウェア更新に必要な空き容量がないとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、各種通信機能およびその他の機能を利用できません。
- ソフトウェアの更新の際には、サーバー（当社のサイト）へSSL／TLS通信を行います。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、電波状態アイコンが4本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなり、ダウンロードが中止された場合は、もう一度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に［更新の必要はありません。このままお使いください。］と表示されます。
- 国際ローミング中、または圏外にいるときは［ローミング中もしくは圏外時は更新できません。］と表示されます。
- ソフトウェア更新に必要な電池残量がないときは［充電不足のため更新ができません。フル充電をしてから再度更新を実行してください。］または［書換え処理が開始できません。フル充電後に再度更新を実行して下さい。］と表示されます。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のF-01D固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、［書換え失敗しました］と表示され、一切の操作ができなくなる可能性があります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただけますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中でPINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

◆ ソフトウェアの自動更新

新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時刻に書き換えを行います。

❖ソフトウェアの自動更新設定

- お買い上げ時は、自動更新の設定が［自動で更新を行う。］に設定されています。

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[端末情報]→[ソフトウェア更新]→[ソフトウェア更新設定の変更]**

2 **[自動で更新を行う。]／[自動で更新を行わない。]**

❖ソフトウェア更新が必要になると

ソフトウェアが自動でダウンロードされると、ステータスバーに (ソフトウェア更新有) が表示され、書き換え時刻を確認したり、変更したりできます。

- (ソフトウェア更新有) が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、(ソフトウェア更新有) は消えます。

1 **通知パネルを開き、通知をタップ**

書き換え予告画面が表示されます。

書き換え予告画面

2 **目的の操作を行う**

確認終了：[OK]

ホーム画面に戻ります。設定時刻になると書き換えを開始します。

時刻の変更：[開始時刻変更]

予約更新→P108「ソフトウェアの予約更新」

すぐに書き換える：[今すぐ開始]

即時更新→P107「ソフトウェアの即時更新」

✔お知らせ

- 自動更新の時刻にソフトウェア更新が起動できなかったときは、ステータスバーに (ソフトウェア更新有) が表示されます。
- 書き換え時刻になったとき、ソフトウェア更新に必要な電池残量がない場合は、ソフトウェア更新を開始しません。翌日の同じ時刻に再度ソフトウェア更新を行います。
- 自動更新設定が［自動で更新を行わない。］の場合やソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

◆ソフトウェアの即時更新

すぐにソフトウェア更新を開始します。

- ソフトウェア更新を起動するには書き換え予告画面から起動する方法とメニューから起動する方法があります。
- 書き換え中や更新中は、すべてのボタン操作が無効となり、書き換えや更新を中止することができません。

〈例〉メニューからソフトウェア更新を起動する

1 **アプリケーションメニューで[設定]→[端末情報]→[ソフトウェア更新]→[更新を開始する]→[はい]→自動的にダウンロード開始→ダウンロード終了**

- ソフトウェア更新の必要がないときには、［更新の必要はありません。このままお使いください。］と表示されます。

書き換え予告画面からの起動：書き換え予告画面を表示→［今すぐ開始］

2 [書換え処理を開始します]表示後、約3秒後に自動的に書き換え開始

- [OK] をタップすると、すぐに書き換えを開始します。

3 自動的に再起動→ソフトウェア更新が開始

4 更新終了後、約5秒後に自動的に再起動

ソフトウェア更新が終了すると、ホーム画面が表示されます。

❖ソフトウェア更新終了後の表示

ステータスバーに✔(ソフトウェア更新が完了しました。)が表示されます。通知パネルを開くと、更新完了画面が表示されます。

- ✔(ソフトウェア更新が完了しました。)は、一度確認すると消えます。

◆ ソフトウェアの予約更新

アップデートパッケージのインストールを別の時刻に予約したい場合は、ソフトウェア更新を行う時刻をあらかじめ設定しておきます。

1 書き換え予告画面を表示→[開始時刻変更]

端末で自動的に設定された時刻が表示されます。

2 時刻を入力→[OK]

❖予約の時刻になると

予約時刻になると書き換え処理開始画面が表示され、約3秒後に自動的にソフトウェア更新が開始されます([OK] をタップすると、すぐにソフトウェア更新が開始されます)。ソフトウェア更新の予約時刻前には、電波の十分届く所でホーム画面を表示させておいてください。

✔お知らせ

- 予約時刻にソフトウェア更新に必要な電池残量がないときには、翌日の同じ時刻にソフトウェア更新を行います。
- OSバージョンアップ中の場合、予約時刻になってもソフトウェアは更新されません。
- 予約時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されている場合でも、ソフトウェア更新が実行されます。
- 予約時刻にF-01Dの電源を切った状態の場合は、電源を入れた後、予約時刻と同じ時刻になったときにソフトウェア更新を行います。

主な仕様

■本体

品名		F-01D
サイズ		高さ約181mm×幅約262mm×厚さ約11.3mm
質量		約597g
メモリ		ROM：16GB RAM：1GB
連続待受時間 ※1	FOMA／3G	静止時（自動）：約1600時間
	GSM	静止時（自動）：約1200時間
	LTE	静止時（自動）：約900時間
充電時間 ※2	ACアダプタ	ACアダプタ F05：約400分 ACアダプタ 01／02：約950分
	DCアダプタ	約860分
液晶部	種類	TFT
	サイズ	約10.1inch
	発色数	16,777,216色
	ドット数	横1280ドット×縦800ドット（ワイドXGA）
撮像素子	種類	CMOS
	サイズ	アウトカメラ：1/4.0inch インカメラ：1/6.0inch
カメラ有効画素数		アウトカメラ：約510万画素 インカメラ：約130万画素
記録画素数（最大時）		アウトカメラ：約500万画素 インカメラ：約130万画素
音楽再生	WMAファイル	連続再生時間：約4998分
	MP3ファイル	連続再生時間：約4990分
無線LAN		IEEE802.11b/g/n※3準拠（Wi-Fiテザリングは IEEE802.11b/g）
Bluetooth機能	対応バージョン	Bluetooth標準規格 Ver.2.1＋EDR準拠※4
	出力	Bluetooth標準規格Power Class 2
	見通し通信距離※5	約10m以内
	対応プロファイル※6	OPP、SPP、HID、A2DP、AVRCP、PBAP、HDP

※1 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。また、インターネット接続をしなくてもアプリケーションを起動すると待受時間は短くなります。
なお、内蔵電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、待受時間が約半分程度になる場合があります。

※2 充電時間とは、本端末の電源を切って、内蔵電池が空の状態から充電したときの目安です。本端末の電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

※3 IEEE802.11nは、2.4GHzのみ対応しています。

※4 本端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※5 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。
※6 Bluetooth機器の接続手順を製品の特性ごとに標準化したものです。

■内蔵電池

使用電池	リチウムポリマー電池
公称電圧	3.7V
公称容量	6560mAh

❖ファイル形式

本端末で撮影した写真（静止画ファイル）とビデオ（動画ファイル）は次のファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画ファイル	JPEG	jpg
動画ファイル	MP4	3gp

❖写真の撮影枚数（目安）

画像サイズ	本体に保存できる撮影枚数	microSDカード（2GB）に保存できる撮影枚数
VGA	約80000枚	約15000枚

❖ビデオの撮影時間（目安）

画像サイズ	本体に保存できる撮影時間	microSDカード（2GB）に保存できる撮影時間
VGA	約1710分	約317分

❖ワンセグの録画時間（目安）

microSDカード（2GB）に保存できる録画時間
約635分

※ microSDカードの空き容量や、録画する番組の内容（データ放送の容量など）によって変化します。

認定および準拠について

本端末に固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）は、本端末で以下の操作を行うとご確認いただけます。
アプリケーションメニューで［設定］→［端末情報］→［認証］

Declaration of Conformity

The product "F-01D" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.fmworld.net/product/phone/doc/.

This tablet PC complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your tablet PC is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency(RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.637W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

---

* The exposure standard for tablet PC employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for tablet PC used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/Kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the device while operating can be well below the maximum value. This is because the device is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
  Operation is subject to the following two conditions :
  ① this device may not cause harmful interference, and
  ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

This model device meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves.
This model device contains a radio transmitter and receiver. This model device is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless tablet PC employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the device while operating can be well below the maximum value. This is because the device is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the device.
Before a tablet PC model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model device as reported to the FCC, when worn on the body, is 1.330W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels at various positions, they all meet the U.S. government requirements.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model device is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ (please search on FCC ID VQK-F01D).
For body worn operation, this device has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal.

※ In the United States, the SAR limit for wireless tablet PC used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Tablet PC should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the device in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a tablet PC and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker.

Hearing Aids

Some digital wireless devices may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices :

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

Wi-Fiとは

無線LAN標準規格のIEEE802.11に基づき、無線LAN機器の相互接続性を保証するためにWi-Fi Alliance®が実施している認証テストで、この認証テストにパスした製品のみ「Wi-Fi Certified™」という設定が与えられ、Wi-Fiロゴがついた製品との相互接続が保証されます。

❖認証取得内容

■ IEEE Standard※1

- IEEE 802.11b
- IEEE 802.11g
- IEEE 802.11n

■ Security※2

- WPA™ - Personal、Enterprise
- WPA2™ - Personal、Enterprise

Vendor EAP Types※3

- EAP-TLS
- PEAPv0/EAP-MSCHAPv2

■ Multimedia

- WMM®※4

■ Special Features

- Wi-Fi Protected Setup™※5

※1 無線LAN規格IEEE 802.11に基づいたWi-Fi認証のベースとなる規格です。

※2 IEEE 802.11iに基づきWi-Fi Alliance®が策定した無線LANの暗号化方式の規格です。

WPA™

Wi-Fi Protected Accessの略で、相互運用可能なセキュリティ拡張の標準化仕様です。

暗号化方式はTemporal Key Integrity Protocol（TKIP）を使用します。

WPA2™

IEEE 802.11i規格に準拠し、WPA™認証をさらに強化しており、下位互換性があります。

暗号化方式はAdvanced Encryption Standard（AES）を使用し、現在Wi-Fi認証ではWPA2™認証は必須となっています。

WPA™、WPA2™の両方の認証にEnterpriseとPersonalがあり、Enterpriseは802.1xとEAP、Personalでは事前共有キー（WPA/WPA2-PSK）で認証を行います。

※3 EAPはExtensible Authentication Protocolの略で、ネットワークデバイスのIDを確認するために使用される認証プロトコルです。WPA™/WPA2™-Enterprise認証で使用されます。

EAP-TLS

Extensible Authentication Protocol Transport Layer Securityの略で、クライアントと認証サーバの両方でデジタル証明書を使って無線LANクライアントの認証を行います。

PEAPv0/EAP-MSCHAPv2

PEAPはProtected Extensible Authentication Protocolの略で、パスワードなどの認証データを802.11ワイヤレスネットワークで転送するために、クライアントと認証サーバの間に暗号化されたSSL/TLSトンネルを作成し、サーバ側のデジタル証明書のみを使って無線LANクライアントを認証します。本方式では暗号化されたSSL/TLSトンネルを介してEAP-MSCHAPv2を実行します。

※4 WMM®はWi-Fi Multimediaの略で、IEEE 802.11eに基づいてWi-Fi Alliance®が策定したQoS機能規格です。無線LANネットワーク内のさまざまなトラフィックに優先順位を割り当てる機能を有しています。

※5 WPS機能で、無線LANの接続設定内容（SSIDや認証方式、暗号キーなど）をプッシュボタン方式、PINコード入力方式で設定できる機能を有しています。

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

◆ 著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

◆ 商標

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「Xi」「Xi／クロッシィ」「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉモーション」「デコメール®」「mopera」「mopera U」「WORLD WING」「エリアメール」「spモード」「ドコモ地図ナビ」「あんしんスキャン」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Playerを搭載しています。
  Adobe Flash Player Copyright© 1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、FlashおよびFlash Logoは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- Microsoft®、Windows®、Windows Media®、Windows Vista®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。本書ではExcel、Wordのように表記している場合があります。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- GoogleおよびGoogleロゴ、AndroidおよびAndroidロゴ、AndroidマーケットおよびAndroidマーケットロゴ、GmailおよびGmailロゴ、Google Latitude、YouTubeおよびYouTubeロゴ、Picasaは、Google, Inc.の登録商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- 「モリサワUD新丸ゴ」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、WMN®、Wi-FiロゴおよびWi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™、WPA™、WPA2™およびWi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Allianceの商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。

- OBEX™は、Infrared Data Association®の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- FrameSolidは株式会社モルフォの登録商標です。
- DigiOn及びDiXiMは株式会社デジオンの商標です。
- StationMobile®は株式会社ピクセラの登録商標です。
- TouchSense® Technology and MOTIV™ Integrator Licensed from Immersion Corporation and protected under one or more of the following United States Patents:
  5844392, 5959613, 6088017, 6104158, 6147674, 6275213, 6278439, 6300936, 6424333, 6424356, 6429846, 7091948, 7154470, 7168042, 7191191, 7209117, 7218310, 7369115, 7592999, 7623114, 7639232, 7656388, 7701438, 7765333, 7779166, 7821493, 7969288 and additional patents pending.
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

◆ その他

- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
  http://www.mpegla.com をご参照ください。
- FrameSolidは株式会社モルフォの画像フレーム補間機能です。

◆ Adobe® Flash® Playerエンドユーザ・ライセンス契約

(i) a prohibition against distribution and copying, (ii) a prohibition against modifications and derivative works, (iii) a prohibition against decompiling, reverse engineering, disassembling, and otherwise reducing the software to a human-perceivable form, (iv) a provision indicating ownership of the Software by Partner and its suppliers, (v) a disclaimer of indirect, special, incidental, punitive, and consequential damages, and (vi) a disclaimer of all applicable statutory warranties, to the full extent allowed by law, a limitation of liability not to exceed the price of the Integrated Product, and/or a provision that the end user's sole remedy shall be a right of return and refund, if any, from Partner or its Distributors.

◆ オープンソースソフトウェア

本製品にはGNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。詳細については、以下のサイトの本製品に関する情報をご覧ください。
http://www.fmworld.net/product/phone/sp/android/develop/

索引

機能名やキーワードを列挙した索引には、「五十音目次」としての機能もあります。なお、「登録」「削除」などの操作については、まず1階層目（**太字**）の機能名やキーワードで検索したのち、2階層目の索引項目から探してください。

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

英数字・記号

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

パソコンから My docomo
(http://www.mydocomo.com/)
⇒ 各種お申込・お手続き

※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、本書巻末の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ず本端末の電源を切ってください。

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■ 運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● バイブ→P58

受信したことを、振動でお知らせします。

● マナーモード／オリジナルマナー→P57

着信音や操作音など本端末から鳴る音を消します（マナーモード）。
音の種類ごとに音量とバイブレーションを設定できます（オリジナルマナー）。
※ただし、シャッター音は消せません。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9：00～午後8：00　（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について
〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414***（無料）

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　富士通株式会社

’11.9（1版）
CA92002-6531